

韓国語 I

担当教員 宋 ミンジョン

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象=人福(月木4)、2~4年次対象=法律・地行・経済・環政・企シ・産情(月木5)

【授業のねらい】

初めて韓国語を学ぶ学生を対象に、基本的な文の構造の理解及び挨拶、自己紹介など簡単な会話ができることを目標とする。音に慣れることから始め、文字と発音を正確に習得し、基礎語彙と文法の基本事項の習得を目指す。基本的な表現を使って簡単な文章を作る練習と読む練習を繰り返し行う。さらに、前期の韓国語 I と後期の韓国語 II を通して、韓国語能力試験(初級)及びハングル能力検定試験(初級)合格を目指す。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス：コース紹介、文字の仕組み
2	基礎・第1～2課：基本母音
3	基礎・第3課：子音①平音
4	基礎・第3課：子音②激音と濃音
5	基礎・第4課：複合母音
6	基礎・第5課：パッチム
7	基礎・第6課：発音の変化
8	第1課 名詞文①「～は～です」
9	第2課 名詞文②「～は～ですか」
10	第3課 名詞文③「～ではありません」
11	第4課 存在詞「あります/ありません」「います/いません」
12	第5課 動詞「する」の丁寧表現①「します/しますか」
13	第6課 動詞「する」の丁寧表現②「します/しますか」
14	第7課 動詞・形容詞の活用①「～ます・～です」
15	第1～7課まとめ・復習
16	期末試験、フィードバック

【履修上の注意事項】

- ・登録前に必ず指定学科と年次を確認し、必ず指定学科と年次を守って登録すること。
- ・初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。
- ・毎回の出席と授業活動には積極的に参加すること。

【評価方法】

- ・期末試験(40%)、小テスト・課題(30%)、授業参加度(30%)により評価する。
- ・授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。

【テキスト】

『基礎から学ぶ韓国語講座 初級 -改訂版-』 木内 明 著 国書刊行会 (2,100円+税)

【参考文献】

必要に応じて授業で紹介する。

韓国語 I

担当教員 真島 知秀

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 全学科 (月木5)

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

初めて韓国語に接する学習者を対象に、文字の仕組みや発音の仕方などをしっかり押さえることで、韓国語能力の基礎作りを図ります。また、学習した文字を応用して、日常的な会話表現を身につけると同時に、韓国の社会や生活文化などにも接することで、ことばと文化を結ぶ韓国語授業を目指します。適宜副教材として、解説プリント、視聴覚教材、カードゲーム、ハングルビンゴ等で効果的で楽しい学習を図ります。前期の韓国語 I と後期の韓国語 II を通して、韓国語能力試験(初級)およびハングル能力検定試験(初級)合格を目指していきます。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、あいさつ練習、ニーズ調査
2	基礎・第1～2課：韓国語の文字の仕組みと基本母語
3	基礎・第3課①：平音の発音練習
4	基礎・第3課②：激音と濃音の発音練習
5	基礎・第4課：複合母音の仕組みと発音練習
6	基礎・第5課：終音(パッチム)の仕組みと発音練習
7	基礎・第6課：発音の変化 / 韓国映画を楽しもう！
8	第1課：名詞文①「～は～です」
9	第2課：名詞文②「～は～ですか」
10	第3課：名詞文の否定表現「～ではありません」、指示詞「こ・そ・あ・ど」の活用
11	第4課：存在の「あります(います) / ありません(いません)」表現
12	第5課：用言文の丁寧表現①「します / しますか」の表現
13	第6課：用言文の丁寧表現②「します / しますか」よりもくだけた表現
14	第7課：動詞・形容詞の丁寧表現(～です・～ます)
15	作文練習と総復習
16	期末試験およびフィードバック

【履修上の注意事項】

- ・初回の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。(登録調整期間中は受講人数調整のため、申し出なく複数回欠席した場合、受講意思が無いものとみなし登録が取り消される恐れがあるため特に注意すること。)
- ・毎回の出席と授業活動には積極的に参加すること。
- ・毎週のように課題が出されるので、その心構えで授業を受けること。

【評価方法】

- ・期末試験(40%)、課題・小テスト(30%)、授業参加度(30%)により評価する。
- ・授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。

※グループ活動の多いクラスなので一人一人がクラスを盛り上げて生きましょう。

【テキスト】

【改訂版】木内 明 著『基礎から学ぶ韓国語講座(初級)』国書刊行会 (2,100+税)

【参考文献】

辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介する。

韓国語 I

担当教員 李 ヒョンジョン

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 日文・社文・企シ（月木3）

【授業のねらい】

初めて韓国語に接する学習者を対象に、文字の仕組みや発音の仕方などをしっかりおさえることで、韓国語能力の基礎作りを図ります。また、学習した文字を応用して、日常的な会話表現を身につけると同時に、韓国という社会や生活文化などにも触れることで、ことばと文化を結ぶ韓国語授業を目指します。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、あいさつ練習、ニーズ調査
2	基礎・第1～2課：韓国語の文字の仕組みと基本母音
3	基礎・第3課①：平音と発音練習
4	基礎・第3課②：激音と濃音の発音練習
5	基礎・第4課：複合母音の仕組みと発音練習
6	基礎・第5課：終声(パッチム)の仕組みと発音練習
7	基礎・第6～7課：発音の変化とあいさつ練習 / 韓国映画を楽しもう！
8	第1課：名詞文①「～は～です」
9	第2課：名詞文②「～は～ですか」
10	第3課：名詞文の否定表現「～ではありません」、指示詞「こ・そ・あ・ど」の活用
11	第4課：存在の「あります(います)/ありません(いません)」表現
12	第5課：用言文の丁寧表現①「します/しますか」の表現
13	第6課：用言文の丁寧表現②「します/しますか」のよりカジュアルな表現
14	第7課：用言文の活用①
15	名詞文と用言文における丁寧表現の比較と総復習
16	期末試験およびフィードバック

【履修上の注意事項】

- ・初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。
- ・毎回の出席と授業活動には積極的に参加すること。
- ・授業以外の自習および課題にも力を入れること。

【評価方法】

- ・期末試験(40%)、小テスト・課題(30%)、授業参加度(30%)の平均により評価する。
- ・授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。

【テキスト】

木内 明 著『基礎から学ぶ 韓国語講座（初級）-改訂版-』国書刊行会（2,100+税）

【参考文献】

辞書や参考書については必要に応じて授業で紹介する。

韓国語 I

担当教員 天久 恵珍

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 経済・環政・社文（月木3）、法律・地行（月木4）

【授業のねらい】

一番近い国の言葉として簡単な自己紹介、基本的な挨拶が出来るようにします。また、韓国の独特な文字である「ハングル」に対し、正しい発音が学習を通してしっかり出来るように練習します。それとともにテキストを使用して「文法」、「語彙力」、「読解力」も習得できるよう心掛けます。さらに、メディア、インターネットを通して韓国の最新情報やニュースを紹介しながら、生活習慣、文化に関して伝えていきます。さらに、韓国語 I～II を通して、韓国語能力試験（初級）及びハングル能力検定試験（初級）が習得ができる学習者を目指していきます。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	基礎1,2：ハングルと韓国の紹介&沖縄と韓国の関係及び基本母音について
2	基礎3：基本子音と二重子音について（ひらがなとハングルの比べ）
3	基礎4：複合母音について（日本語のハングル表記について）
4	基礎5：パッチムについて
5	基礎6：発音の変化
6	基礎7：基本挨拶及び小テスト
7	第1課：「～は」、「～です」について
8	第2課：「～が」、「～ですか」について
9	第3課：「～ではありません」について
10	韓国映画と歌（大衆文化）と小テスト
11	第4課：「あります・います」について
12	第5課：「します」のニダ体について
13	第6課：「します」のヨ体について
14	第7課：ハムニダ体について
15	総合応用について（自己紹介）及び前期講座のまとめ。
16	期末テスト

【履修上の注意事項】

- * 初日の出席は必須条件です。出席しなければ登録は取り消される可能性があります。
- * 指定学科と年次を守って下さい。

【評価方法】

授業参加態度（30%）、期末試験（40%）、小テスト&課題（30%）とし評価します。

【テキスト】

「基礎から学ぶ韓国語講座 ・初級[改訂版]（国書刊行会、2,100円 + 税）」

【参考文献】

必要に応じて講義の中で紹介します。

韓国語 I

担当教員 長嶺 聖子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象=英米・産情(月木3)、2~4年次対象=日文・英米・社文・人福(火金2)

【授業のねらい】

初めて韓国語を学習する人でも楽しめる「話せる韓国語」を心掛けます。文法解釈はテキストを使用して韓国語と日本語の文法に関する多くの共通点や相違点を見分け、確実に韓国の文字「ハングル」の「読み」、「書き」が習得できるように練習します。

さらに、ラボ教室のCALLシステム及び教室の機器を利用し現在の韓国の情報を、歌、ドラマ、映画、インターネットなどを通して紹介します。達成目標は、韓国の文字「ハングル」を読めるようにすることです。

【授業の展開計画】

文法と会話及び文化について同時に行います。

週	授 業 の 内 容
1	基礎・第1課：「ハングル」の成り立ち 会話：簡単な自己紹介
2	基礎・第2課：母音字の書き方と発音 会話：さようなら
3	基礎・第3課：子音字の書き方と発音 会話：よろしくお願ひします
4	基礎・第4課：複合母音 会話：民族衣装
5	基礎・第5課：末音字（パッチム）の発音 会話：韓国の名前
6	基礎・第6課：発音の変化 会話：先生の日
7	日本語の「ハングル」表記表 会話：単語カルタ
8	第1課：文の構造 会話：韓国TVの歌番組
9	第2課：助詞 会話：パソコンで文字入力
10	第3課：疑問文／否定文 会話：レストランで
11	第4課：存在詞 会話：ショッピング
12	第5課：します／しますか 会話：テコンドDVD
13	第6課：です／ますの打ち解けた語尾 会話：韓国映画
14	第7課：丁寧な語尾練習 会話：単語読みの練習
15	総まとめ
16	期末試験

【履修上の注意事項】

登録初日の出席は、必修条件です。出席しないと登録が取り消される可能性があります。

授業は段階的に構成されているので、出来るだけ遅刻・欠席はしないこと。

指定学科と学年を守って下さい。

【評価方法】

授業参加度(30%)、課題(30%)、学期末試験(40%)から総合的に評価します。

【テキスト】

『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』（国書刊行会、2,100円＋税）

【参考文献】

必要に応じて講義の中で紹介します

韓国語Ⅱ

担当教員 李 ヒョンジョン

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 日文・社文・企シ（月木3）

【授業のねらい】

韓国語Ⅰに続き、韓国語の基礎構造を着実に積んでいくことで、「聞いて話す」「読んで書く」という語学技能を自分のものにしていきます。また、文化の触れ合い学習にも力を入れることで、韓国の社会や文化を沖縄と比較してみましょう。韓国語Ⅰ～Ⅱを通して、韓国語能力試験（初級）およびハングル能力検定試験（初級）取得ができる学習者を目指していきます。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス：今学期の内容紹介、自己紹介、ニーズ調査、レベル・テスト
2	前学期の復習
3	第8課：用言文の活用②
4	第9課：漢数詞の練習（電話番号／誕生日／日時を尋ねる）
5	第10課：固有数詞の練習（年齢／物の数／時間を尋ねる）
6	漢数詞を用いて友達作り、固有数詞を用いて「買い物場面」にチャレンジ
7	第11課：尊敬表現の練習、日本の尊敬表現との比較
8	韓国映画を楽しもう！ / ムービーテレコを用いたセリフの練習
9	第12課：用言文における否定表現の練習
10	第13課；過去表現の練習
11	用言文全体の活用練習と会話
12	第14課：勧誘表現「～しよう／～しましょう(か)」の練習
13	第15課：現在進行表現「～している」
14	会話練習①：位置関係 / 会話練習②：～さんは何をしていますか？
15	作文練習と総復習
16	期末試験およびフィードバック

【履修上の注意事項】

- ・韓国語Ⅰを履修済みであること。
- ・初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。
- ・毎回の出席と授業活動には積極的に参加すること。
- ・授業以外の自習および課題にも力を入れること。

【評価方法】

- ・期末試験(40%)、小テスト・課題(30%)、授業参加度(30%)の平均により評価する。
- ・授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。

【テキスト】

木内 明 著『基礎から学ぶ 韓国語講座（初級）-改訂版-』 国書刊行会（2,100+税）

【参考文献】

辞書や参考書については必要に応じて授業で紹介する。

韓国語Ⅱ

担当教員 天久 恵珍

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 経済・環政・社文（月木3）、法律・地行（月木4）

【授業のねらい】

韓国の独特な文字である「ハングル」に対し、正しい発音が学習を通してしっかり出来るように練習しながら、前期の文法を会話に応用し、「丁寧体」、「尊敬体」をできるようにします。また、韓国学生の最新情報や考え方も前期と同様にメディア、インターネットを通して紹介するよう心掛けます。さらに、テキストの「文法」、「読解力」も理解し、独自の応用が出来るようにします。

さらに、韓国語Ⅰ～Ⅱを通して、韓国語能力試験（初級）及びハングル能力検定試験（初級）取得できる学習者を目指していきます。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	第8課：「へヨ」体について
2	第8課：「へヨ」体のまとめ
3	第9課：「漢数詞」について
4	第9課：「月・日」について
5	第10課：「固有数詞」について
6	第10課：「時間」について
7	映画鑑賞及び小テスト
8	第11課：「敬語」について
9	第12課：「否定形」について
10	第12課：「否定形」のまとめ
11	第13課：「過去形」について
12	第13課：「過去形」のまとめ
13	第14課：「勧誘形」について
14	第15課：「してください」について
15	総合応用及びまとめ。
16	期末テスト

【履修上の注意事項】

- *必ず韓国語Ⅰを履修済みである事。
- *初日は出席が必須条件です。出席しなければ登録が取り消される可能性があります。
- *指定学科と年次を守って下さい。

【評価方法】

授業参加態度（30%）、期末試験（40%）、小テスト・課題（30%）とし評価します。

【テキスト】

「基礎から学ぶ韓国語講座・初級[改訂版]」（国書刊行会、2,100円 + 税）

【参考文献】

必要に応じて講義の中で紹介します。

韓国語Ⅱ

担当教員 宋 ミンジョン

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象=人福(月木4)、2~4年次対象=法律・地行・経済・環政・企シ・産情(月木5)

【授業のねらい】

韓国語Ⅰを履修した学生を対象に、聞いて話せる実用的な韓国語の習得を目指す。
 韓国語の基礎を固めるのに必要な単語・文法・慣用句などを覚え、実際の場面で表現できるよう声に出して繰り返し練習する。韓国語Ⅰ～Ⅱを通して、韓国語能力試験(初級)及びハングル能力検定試験(初級)合格を目指す。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	前期学習内容の確認
2	第8課：動詞・形容詞の活用②
3	第9課：漢数詞
4	第10課：固有数詞
5	第11課：敬語
6	第12課：動詞・形容詞の否定文
7	第13課：過去形
8	第14課：勧誘表現
9	第15課：現在進行形
10	韓国映画
11	聞き取り練習・小テスト
12	課題発表
13	作文練習
14	会話練習
15	総復習(8~15課)
16	期末試験、フィードバック

【履修上の注意事項】

- ・韓国語Ⅰを履修済みであること。
- ・初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。
- ・毎回の出席と授業活動には積極的に参加すること。
- ・授業以外の自習とグループ活動にも力を入れること。

【評価方法】

- ・期末試験(40%)、小テスト・課題(30%)、授業参加度(30%)により評価する。
- ・授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。

【テキスト】

『基礎から学ぶ韓国語講座 初級 -改訂版-』 木内 明 著 国書刊行会 (2,100円+税)

【参考文献】

辞書と参考書については必要に応じて授業で紹介する。

韓国語Ⅱ

担当教員 真島 知秀

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 全学科（月木5）

【授業のねらい】

韓国語Ⅰに引き続き、韓国語の基礎構造を着実に積んでいくことで、「聞いて話す」「読んで書く」という語学技能を自分のものにしていきます。また韓国と沖縄の社会や文化の違いを比較し、韓国語より深く学んでもらいます。

前期の韓国語Ⅰと後期の韓国語Ⅱを通して、韓国語能力試験(初級)およびハングル能力検定試験(初級)合格を目指していきます。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス：今学期の内容紹介、自己紹介、ニーズ調査
2	前学期の復習①：複合母音、名詞文
3	第8課：用言文の活用②
4	第9課：漢数詞の練習（電話番号／誕生日／日時を尋ねる）
5	漢数詞を用いて友達作り
6	第10課：固有数詞の練習（年齢／物の数／時間を尋ねる）
7	固有数詞を用いて「買い物場面」にチャレンジ
8	韓国映画を楽しもう！
9	第11課：尊敬表現の練習、日本の尊敬表現との比較
10	第12課：用言文における否定表現の練習
11	第13課：過去表現の練習
12	第14課：勧誘表現「～しよう／～しましょう（か）」の練習
13	第15課：現在進行形「～している」／依頼の表現「～してください」の練習
14	韓国文化
15	作文練習と総復習
16	期末試験およびフィードバック

【履修上の注意事項】

- ・韓国語Ⅰを履修済みであること。
- ・初回の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。（登録調整期間中は受講人数調整のため、申し出なく複数回欠席した場合、受講意思が無いものとみなし登録が取り消される恐れがあるため特に注意すること。）
- ・毎回のように課題が提出されるので、その心構えで臨むこと。

【評価方法】

- ・期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、授業参加度（30%）により評価する。
- ・授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。

※グループ活動の多いクラスなので一人一人がクラスを盛り上げて生きましよう。

【テキスト】

【改訂版】木内 明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』 国書刊行会 （2,100+税）

【参考文献】

辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介する。

韓国語Ⅱ

担当教員 長嶺 聖子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象=英米・産情(月木3)、2~4年次対象=日文・英米・社文・人福(火金2)

【授業のねらい】

この講義は、韓国語と日本語の語順がほぼ同じであるというメリットを活かし、「読む」ことを楽しむ形式で進めると同時に、日常生活を中心とした会話学習を通して「会話」の幅を広げます。さらに、ラボ教室のCALLシステム及び教室の機器を利用し韓国の文化や現在の韓国の情報を、歌、ドラマ、映画、インターネットなどを通して紹介します。また、韓国語の検定試験(初級)取得ができる学習者を目指していきます。

【授業の展開計画】

文法と会話及び文化について同時に行います。

週	授 業 の 内 容	
1	第8課：打ち解けた丁寧な語尾	会話：お久しぶりです
2	DVD「韓国留学150日」	会話：いただきます
3	第9課：漢教詞	会話：誕生日の歌
4	単語カード読み	会話：韓国語で～と言います
5	第10課：固有数詞	会話：歌詞で語尾練習
6	助数詞(単位)	会話：電話番号
7	第11課：尊敬語の語尾	会話：敬語の使い方
8	丁寧な命令文	会話：韓国のドラマ
9	第12課：連結語尾(条件)	会話：DVD「ソウルの名所」
10	否定文の練習	会話：ダ体(パンマル)の表現
11	第13課：過去形	会話：韓国の食文化をWebで検索
12	過去形の練習：プリント	会話：韓国のお正月
13	第14課：勧誘形	会話：韓国映画
14	第15課：進行形	会話：感嘆の表現
15	総まとめ	
16	期末試験	

【履修上の注意事項】

韓国語Ⅰを履修した学生を対象としています。

登録初日の出席は、必修条件です。出席しないと登録が取り消される可能性があります。指定学科と学年を守って下さい。

【評価方法】

授業参加度(30%)、課題(30%)、学期末試験(40%)から総合的に評価します。

【テキスト】

『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』(国書刊行会、2,100円+税)

【参考文献】

必要に応じて講義の中で紹介します。

韓国語Ⅲ

担当教員 李 ヒョンジョン・岸本 孝根

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科 (月・木5)

【授業のねらい】

この授業では、韓国語の中級レベルに進むための段階として、初級レベルにおける重要ポイントをもう一度振り返ります。また、ペアティーチングにより、正確な読み・書き能力を備え、学習した文型を会話の運用力に活かせるスキルを持つ学習者を目指します。具体的には、月曜日は会話・音声中心、木曜日は文法・文型中心の授業構成になっています。テキスト以外の話題も扱うことで、より韓国・韓国語を楽しんでいきましょう！

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、ニーズ調査
2	レベル確認及び初級の振り返り
3	初級・第16課 可能・不可能の表現「～することができる／～することができない」
4	初級・第17課 希望・意志を表す表現「～したい」
5	初級・第18課 許諾「～してもいい」／許諾を求める表現「～してもいいですか」
6	初級・第19課 義務を表す表現「～しなければならない」
7	不規則活用の練習
8	韓国映画を楽しもう！ / 字幕付け練習
9	初級・第20課 推量および意志「～と思います／～するつもりです」
10	初級のまとめ / 会話テスト
11	連体形の練習
12	中級・第1課 動作の原因および様態「～して／～なので」
13	中級・第2課 形容詞・指定詞の連体形
14	中級・第3課 動詞・存在詞の連体形
15	総復習
16	期末試験およびフィードバック

【履修上の注意事項】

- ・人数調整およびニーズ調査等があるため、初日の出席は必須。出席しないと登録が取り消される可能性あり。
- ・毎回の出席はもちろん、授業でのペアー活動・グループ活動には積極的に参加すること。
- ・授業以外の自習と課題にも力を入れること。

【評価方法】

- ・期末試験(40%)、小テスト・課題(30%)、授業参加度(30%)の平均により評価する。
- ・授業回数の3分1以上欠席の場合は不可とする。

【テキスト】

木内 明 著 『基礎から学ぶ韓国語講座(初級)－改訂版－』 国書刊行会 (2,100円＋税)
 木内 明 著 『基礎から学ぶ韓国語講座(中級)』 国書刊行会 (2,100円＋税)

【参考文献】

- ・辞書：『朝鮮語辞典』小学館(必修ではないが、持参をお勧めする)
- ・その他の参考書については必要に応じて授業で紹介する。

韓国語Ⅳ

担当教員 李 ヒョンジョン・岸本 孝根

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（月・木5）

【授業のねらい】

韓国語の中級学習者としてよりレベルの高いコミュニケーション能力を身につけるための文型および語彙選択のスキルアップを目指します。授業構成は韓国語Ⅲと同様、ペアティーチングとなります。授業全般において積極的に参加することで、自分の意思を伝達し、相手の意見と調整できる力をつけていきます。韓国語Ⅳまでの学習能力を用いて、韓国語能力試験(中級)およびハングル能力検定試験(中級)の獲得を目指しましょう！

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、ニーズ調査、レベル確認
2	不規則活用の復習と会話練習
3	連体形の復習と会話練習
4	第4課 逆接表現「～であるが」、同時進行「～しながら」
5	第5課 経験の有無を表す表現①「～してみる」
6	第6課 経験の有無を表す表現②「～したことがある(ない)」
7	第7課 理由を表す表現「～なので」、他の理由表現との比較
8	韓国映画を楽しもう！ / グループ活動：Movie Teleco字幕付け作業
9	第8課 意志を表す表現「～しようと」
10	第9課 「～し始める」表現、「～するなり」表現
11	第10課 勧誘表現「～しましょうか」、他の勧誘表現との比較
12	第11課 願望を表す表現「～したらよいのだが」
13	第12課 「～時」表現の様々な形を練習
14	地図、買い物、位置関係などの会話練習
15	会話テスト、総復習
16	期末試験およびフィードバック

【履修上の注意事項】

- ・初日の出席は必須。出席しないと登録が取り消される可能性あり。
- ・毎回の出席はもちろん、授業でのペアー活動・グループ活動には積極的に参加すること
- ・授業以外の自習と課題にも力を入れること

【評価方法】

- ・期末試験(40%)、小テスト・課題(30%)、授業参加度(30%)の平均により評価する。
- ・授業回数の3分1以上欠席の場合は不可とする。

【テキスト】

木内 明 著 『基礎から学ぶ韓国語講座（中級）』 国書刊行会（2,100円＋税）

【参考文献】

- ・辞書：『朝鮮語辞典』小学館（必修ではないが、持参をお勧めする）
- ・その他の参考書については必要に応じて授業で紹介する。

外国語研究 I

担当教員 李 ヒョンジョン

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 外国語（韓国語）研究 I / 全学科および交換留学候補学生・帰国学生

【授業のねらい】

この授業は、韓国留学（交換および私費留学）を経験した人の語学力保持および更なる上達の間として位置づけられています。同時に、これから留学を目指す人、または韓国語IVまで履修済みでより上級クラスを目指す人にとっては、自分の語学力を極める場とします。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス
2	自習課題の設定
3	会話①、自習課題の取り組みとチェック
4	会話②、自習課題の取り組みとチェック
5	会話③、自習課題の取り組みとチェック
6	会話④、自習課題の取り組みとチェック
7	会話⑤、自習課題の取り組みとチェック
8	中間テスト
9	読解とシャドイング①、自習課題の取り組みとチェック
10	読解とシャドイング②、自習課題の取り組みとチェック
11	読解とシャドイング③、自習課題の取り組みとチェック
12	読解とシャドイング④、自習課題の取り組みとチェック
13	読解とシャドイング⑤、自習課題の取り組みとチェック
14	ペア作業の準備
15	ペア作業による期末テスト
16	まとめ

【履修上の注意事項】

- ・授業の初日に履修に関する相談をするため、必ず出席すること。
- ・語彙学習を含む普段の自習に心がけること。

【評価方法】

- ・授業参加度（30%）、期末試験（30%）、小テスト・課題（40%）の平均により評価する。
- ・授業回数の1/3以上欠席の場合は不可とする。

【テキスト】

- ・配布プリントおよびCALL教材を使用するため、別途のテキスト指定は無い。
- ・授業で扱ってほしい学習リソースがある場合は全員で共有する。

【参考文献】

- ・長渡陽一（2009）『韓国語の発音と抑揚トレーニング』アルク
- ・川越菜穂子（2012）『こだわり韓国語』三修社
- ・その他、必要に応じて紹介する。

外国語研究 I

担当教員 上江洲 律子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 外国語（フランス語）研究 I / 全学科および交換留学候補学生・帰国学生

【授業のねらい】

フランス語の中級クラスを終了した後、さらにフランス語の実践力を培うと同時に、フランスの文化に触れることでフランスに関する知識を深めることを目標とします。この目標を達成させるために、授業では、フランス語で書かれたテキストを読むことや、フランス語で語られたことを書き取ることに取り組みます。文化的な内容を含んだ教材による実践的な練習を通して、より高いフランス語力やフランス文化への理解力を身につけると同時に、レンヌ第二大学への交換留学に臨む準備をしていきましょう。

【授業の展開計画】

第01回：ガイダンス
第02回：書き取りと会話（1）
第03回：読解と作文（1）
第04回：書き取りと会話（2）
第05回：読解と作文（2）
第06回：書き取りと会話（3）
第07回：読解と作文（3）
第08回：書き取りと会話（4）
第09回：読解と作文（4）
第10回：書き取りと会話（5）
第11回：読解と作文（5）
第12回：書き取りと会話（6）
第13回：読解と作文（6）
第14回：復習
第15回：読解と作文の試験
第16回：書き取りと会話の試験

【履修上の注意事項】

フランス語 I～IVを履修済みであること、または、その実力を有することが履修の必要条件になります。

【評価方法】

授業の達成度を確認するために、「読解と作文の試験」と「書き取りと会話の試験」を実施します。また、毎回提示する課題の提出状況も加味して総合的に評価します。

●計算式：読解と作文の試験(35%) + 書き取りと会話の試験(35%) + 課題得点(30%)

※単位取得のために、授業における3分の2以上の出席を義務付けます。

【テキスト】

授業内で必要に応じてプリントを配付します。

【参考文献】

ガイダンスの際に紹介するほか、授業内で必要に応じて紹介します。

外国語研究 I

担当教員 兼本 敏

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 外国語（中国語）研究 I / 全学科および交換留学候補学生・帰国学生

【授業のねらい】

中国語の基礎（文型・音韻）が既習されているのが前提です。中国語で最も重要な声調の発声、聞き取りを意識しながら会話し完全な習得を目指します。

このクラスは、次の技能を習得することを目標とする。

1. 中国語の基礎文型をPCを使いEメールや簡潔な文章を書けるようにする。
2. 中国語のホームページ等を利用して情報を検索する。

【授業の展開計画】

講義は二つの部分から構成されます。

前半は中国語での会話力を高めるため毎回トピックを提示して数分間の会話をします。

会話の中で次の項目を意識しながら進めます。

1. 話題への理解
2. 発音の確認
3. 文型の確認
4. 聴解の訓練

適宜「まとめ」の小テストを行います。

後半は、PCで日本語と中国語を入力し、映画や音楽の歌詞の字幕スーパーを作成します。映画、歌詞はみなさんと話し合いで選択し、作業の分担を決定します。

【履修上の注意事項】

- 1) 欠席する場合は必ず事前に連絡をすること。（無断欠席をしないこと）
- 2) 欠席回数が全授業回数の1/3を超えた場合は単位を与えない。

【評価方法】

授業への取り組み（会話への参加、字幕スーパーの完成）および出席状況をもとにして総合的に判断します。

【テキスト】

特に指定しませんが、トピックは講義の初日に提示し、皆さんで決定します。同様に字幕スーパー用の映画、歌詞も初日に決定します。

【参考文献】

辞書は必須です。

外国語研究Ⅱ

担当教員 兼本 敏

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 外国語（中国語）研究Ⅱ／全学科および交換留学候補学生・帰国学生

【授業のねらい】

中国語の基礎（文型・音韻）を既習しているのが前提です。中国語の表現力を培う目的で短編小説、童話、漫画などを教材に使用し、各自に翻訳とナレーションを課題とします。

中国語3級以上を目標に設定した講義です。豊富な語彙力と多くの表現を習得します。

中国語での会話力を高めるため毎回トピックを提示して数分間の会話をします。

【授業の展開計画】

講義は2部で構成されます。

毎回前半は、会話を中心に行います。

会話のトピックは講義の初日に皆さんに提示します。みんなで決定します。

会話の中で次の項目を意識しながら進めます。

1. 話題への理解
2. 発音の確認
3. 文型の確認
4. 聴解の訓練

第3週目は「まとめ」の小テストを行います。

講義の後半は、翻訳、ナレーションの作成を行います。

PCでの入力方法を習得してもらい、録音とPPTでの翻訳作品を完成させてもらいます。

作品は講義の初日に提示しますが、みなさんで決めてもらいます。

【履修上の注意事項】

- 1) 欠席する場合は必ず事前に連絡をすること。（無断欠席をしないこと）
- 2) 欠席回数が全授業回数の1/3を超えた場合は単位を与えない。

【評価方法】

授業への取り組み（トピックへの参加・翻訳、ナレーションの作成）をもとにして総合的に判断します。

【テキスト】

特に指定はしませんが辞書は必須です。

トピックおよび翻訳する作品は初日の講義で提示し、決定します。

【参考文献】

トピックおよび翻訳対象作品に関する文献など（初日および第2回目の講義時に紹介します）

外国語研究Ⅱ

担当教員 上江洲 律子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 外国語（フランス語）研究Ⅱ／全学科および交換留学候補学生・帰国学生

【授業のねらい】

外国語研究Ⅰにひき続き、フランス語の実践力を伸ばし、フランスの社会や文化に関する知識と理解を深めることを目標とします。また、外国語研究Ⅱでは、レンヌ第二大学の交換留学から帰国した学生とともに、フランス語での授業やフランス語での討論などにも取り組みます。日常生活で活用できるフランス語力を身につけることを目指しましょう。

【授業の展開計画】

- 第01回：ガイダンス
- 第02回：書き取りと会話（1）
- 第03回：読解と作文（1）
- 第04回：書き取りと会話（2）
- 第05回：読解と作文（2）
- 第06回：書き取りと会話（3）
- 第07回：読解と作文（3）
- 第08回：書き取りと会話（4）
- 第09回：読解と作文（4）
- 第10回：書き取りと会話（5）
- 第11回：読解と作文（5）
- 第12回：書き取りと会話（6）
- 第13回：読解と作文（6）
- 第14回：復習
- 第15回：読解と作文の試験
- 第16回：書き取りと会話の試験

【履修上の注意事項】

外国語研究Ⅰを履修済みであること、または、その実力を有することが履修の必要条件となります。

【評価方法】

授業の達成度を確認するために、「読解と作文の試験」と「書き取りと会話の試験」を実施します。また、毎回提示する課題の提出状況も加味して総合的に評価します。

●計算式：読解と作文の試験(35%)＋書き取りと会話の試験(35%)＋課題得点(30%)

※単位取得のために、授業における3分の2以上の出席を義務付けます。

【テキスト】

授業内で必要に応じてプリントを配付します。

【参考文献】

ガイダンスの際に紹介するほか、授業内で必要に応じて紹介します。

外国語研究Ⅱ

担当教員 李 ヒョンジョン

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 外国語（韓国語）研究Ⅱ／全学科および交換留学候補学生・帰国学生

【授業のねらい】

この授業は、韓国留学（交換および私費留学）を準備中の人に対する事前学習の場として位置づけられています。留学済みの人、これから留学を目指す人にとっては、自分の語学力を極める場とします。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	ガイダンス
2	自習課題の設定
3	連体形のまとめ、自習課題の取り組み
4	会話①、自習課題の取り組み
5	不規則用言のまとめ①、自習課題の取り組み
6	不規則用言のまとめ②、自習課題の取り組み
7	会話②、自習課題の取り組み
8	中間テスト
9	使役・受け身のまとめ①、自習課題の取り組み
10	使役・受け身のまとめ②、自習課題の取り組み
11	会話③、自習課題の取り組み
12	作文①、自習課題の取り組み
13	作文②、自習課題の取り組み
14	作文③、自習課題の取り組み
15	期末テスト
16	まとめ

【履修上の注意事項】

- ・授業の初日に履修に関する相談をするため、必ず出席すること。
- ・語彙学習を含む普段の自習に心がけること。

【評価方法】

- ・授業参加度（30%）、期末試験（30%）、小テスト・課題（40%）の平均により評価する。
- ・授業回数の1/3以上欠席の場合は不可とする。

【テキスト】

- ・配布プリントおよびCALL教材を使用するため、別途のテキスト指定は無い。
- ・授業で扱ってほしい学習リソースがある場合は全員で共有する。

【参考文献】

- ・必要に応じて随時紹介する。

スペイン語 I

担当教員 又吉 パトリシア

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象=経済・環政・企シ・産情(月木3)、2~4年次対象=日文・英米・社文・人福(火金2)

【授業のねらい】

この講義では、主に初めてスペイン語を学ぶ学生のためのクラスです。講義ではスペイン語の基礎を学び、役に立つ会話を習得し、自己紹介ができるようにと目的とします。また副教材として歌やDVD教材などを利用しスペイン語圏の世界を紹介していきます。

【授業の展開計画】

- 1週目： 世界におけるスペイン語、スペイン語圏の国々、沖縄と中南米諸国との関係の紹介。あいさつ
- 2週目： スペイン語の特徴(アルファベット、発音、アクセント)
- 3週目： 名詞の性と数、定冠詞(定冠詞,不定冠詞)、数字0~10
- 4週目： 主語人称代名詞、SER動詞の直接法現在形の活用
- 5週目： ESTAR動詞とHAY動詞の直接法現在形の活用、場所を尋ねる
- 6週目： 形容詞、SER動詞とESTAR動詞の比較
- 7週目： -ar動詞の直説法現在形の活用、前置詞
- 8週目： -erと-ir動詞の直説法現在形の活用、疑問詞
- 9週目： 時刻と日付を表す(数字：11~、曜日、月)、感嘆文
- 10週目： 日常生活について話す(動詞の直説法現在形の復習)、天気表現
- 11週目： 所有形容詞、家族の紹介、縮小辞
- 12週目： 値段の聞き方、買い物とレストランでの会話
- 13週目： 間接目的格人称代名詞、GUSTAR型の動詞の活用、比較
- 14週目： 口頭テストのための作文を書く、スペインの夏祭りの紹介
- 15週目： 復習、期末テスト・回答
- 16週目： 自己紹介また家族の紹介についての発表、前期のまとめ

【履修上の注意事項】

- 復習は必ずしてきてください(特に動詞の活用)。積極的な授業への参加が望めます。
- 毎回テキストとノートを持参すること。また、配布されたプリント、資料を大事にファイルすること。
- 前学期・後学期続けて同じクラスでの授業を取ることを望む。
- スペイン語IIを受講するにはスペイン語Iを合格していることを条件とする。

【評価方法】

最終評価は次の点の合計点とする：

- 1) 出席(10点) 授業総時間数の1/3(10回)以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻は欠席扱いとする。
- 2) テスト(60点) 小テスト、中間及び期末テストを行う(筆記、口頭テスト)
- 3) 宿題及び課題の提出 (20点)
- 4) 授業参加、態度(10点)

【テキスト】

『Bienvenidos a Japon!』 ディエゴと日本再発見!-初級スペイン語-

著者：尚真貴子、福地 恭子、小波津 フェルナンド、又吉 パトリシア (朝日出版社)

定価：2,300円 + 税

【参考文献】

「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社¥2,800/「西和中辞典」桑名一博、他編 小学科¥5,800/「和西辞典」有本、宮城、他 白水社¥4,500/「現代スペイン語辞典」宮城、山田、他 白水社¥4,000 ※スペイン語電子辞書も使用可

スペイン語 I

担当教員 小波津 フェルナンド

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象=日文・社文(月木3)、2~4年次対象=法律・地行・経済・環政・企シ・産情(火金2)

【授業のねらい】

4億5千万人ぐらいの人口、20ヶ国で公用語として話されているスペイン語を楽しく、明るく学ぶ授業にします。外国語に興味を持たせて、自分は外国語をマスター出来る！そのヒントを与えてくれる科目にしたい！！スペイン語圏はこんなに面白くて、こんなに日本と違うなと思わせる授業です。但し、せっかく学ぶのであれば、挨拶程度のレベルでは満足しないで下さい。自らの積極性はとても大切にする授業です！

【授業の展開計画】

「「授業のねらい」の続き～
スペイン語は、日本人にとって発音が易しいとも言えますが、文法的に難しい点は、動詞の活用です。そこで、本講義では、動詞の活用を直説法現在形に絞って学習し、口頭での受け答え練習や、時には、英語との比較対照を通して、スペイン語の文法的特徴に慣れてもらいます。また、ビデオ教材(街の風景、音楽)なども使用して、スペイン、ラテンアメリカの社会や文化に関する話題も導入します。

- 1 スペイン語の世界： 教室で使う挨拶、話す国々、使用状況
- 2 スペイン語の特徴： アルファベット・母音・子音とその発音
- 3 注意に必要な綴りと発音・アクセント・疑問文と否定文 文化コーナー： スペイン語圏の生活
- 4 名詞の性と数・冠詞 (un amigo, una amiga, unos amigos, unas amigas)
- 5 Hayの用法：不特定な人や物が存在しているかどうかを表す(英語のThere is, there are)
- 6 主語人称代名詞。 動詞serの直説法現在(出身地、主語の特徴、職業を言う)
- 7 冠詞 と 形容詞のはたらき (名詞との関連性) 文化コーナー： スペイン語圏の人気スポーツ(この時期、さらに数字、職業、国、言語、国籍。接続詞：y (and), o (or), pero (but)を学びます。
- 8 動詞estarの直説法現在：主語の居場所を表す。
- 9 不定語と否定語。 文化コーナー： スペイン語圏の有名な人物
- 10 動詞の直説法現在形(規則活用)：-ar、-erと-ir動詞 (話す、食べる、住む)
- 11 前置詞、所有形容詞。 疑問詞 文化コーナー： スペイン語圏の世界遺産
- 12 時間の表し方：Que hora es?
- 13 感嘆文、天候表現、目的格人称代名詞 文化体験コーナー： ペルーの食文化『紫のトウモロコシ?』
- 14 Gustar型動詞、比較級、最上級、不定詞を用いた命令
- 15 スペイン語Iの復習とまとめ 文化コーナー： スペイン語圏のジェスチャー
- 16 期末試験

【履修上の注意事項】

ノートと辞書は必携です。外国語学習には単語の意味を知る必要が有ります。
指定学科と年次を守ってください。

【評価方法】

基本的に中間と期末テストの成績結果。さらに、教科書のドリル問題やタスクの完成、出席(休み・遅刻に説明が必要です。この行為はマイナス評価につながります)、授業態度(積極性、努力、居眠りは注意されます)。

【テキスト】

朝日出版社 「ディエゴと日本再発見 - 初級スペイン語 -」 CD付 ISBN978-4-255-55058-9 C1087 Y2300E) (スペイン語名：BIENVENIDOS A JAPON!)

【参考文献】

辞書一冊：電子辞書 か『スペイン語ミニ辞典』(白水社)』 又は『現代スペイン語辞典』(白水社)』 それとも 『西和辞典』(小学館)』

スペイン語 I

担当教員 上地 リリア

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（月木5）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

はじめてスペイン語を学ぶ学生のための入門クラス。講義ではテキスト・作成プリントを主としスペイン語の基礎を学び、単語、文法、及び簡単な会話ができるようになる。また、正しい発音、会話の練習の後に、オーラルチェックを行う。音楽や歌詞などを用いて興味を覚える。ビデオを使用し、スペイン及びラテン・アメリカの事情や文化、習慣の紹介をする。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Introduccion
2	Alfabeto
3	アクセントの位置
4	名詞の性・数
5	定冠詞・不定冠詞
6	形容詞
7	復習、小テスト（1）
8	Ser 動詞
9	Estar 動詞
10	Ser と Estar動詞の違い
11	規則動詞（1）
12	規則動詞（2）
13	規則動詞（3）
14	所有詞 小テスト（2）
15	総復習
16	期末テスト（3）

【履修上の注意事項】

二重登録に注意してください。
授業の疑問点を質問して下さい。

【評価方法】

テスト（3回×3＝90点）を行う。
発音、会話のオーラルチェック（10点）を行う。
欠席、遅刻は、減点する。
授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。

【テキスト】

授業の進行状況に添った練習問題のプリントも使用する。

【参考文献】

スペイン語 I

担当教員 赤嶺 恭子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 英米（月木3）、法律・地行・人福（月木4）

【授業のねらい】

スペイン語はスペインのみならず中南米やアフリカなど約4億5千万人の人々によって話されている言語です。本講義では、文部科学省認定スペイン語技能検定6級の出題範囲である基礎文法の習得を目指します。さらにCDやDVDで、スペイン語の背景にある文化、社会、歴史、芸術に触れていきます。週一回、CALL教室を使用する予定です。CALL教室では、ムービーテレコ、ムービーメーカー、webカメラなどを使用して、スペイン語でコミュニケーションをとれるようになるためのトレーニングを行います。

【授業の展開計画】

- 1週目 スペイン語の概要，アルファベット
 - 2週目 スペイン語の発音，アクセントの位置，主格人称代名詞
 - 3週目 小テスト①（発音，アクセント），名詞の性と数，定冠詞，不定冠詞
 - 4週目 動詞serの直説法現在
 - 5週目 動詞serの直説法現在，形容詞の性と数
 - 6週目 動詞serのまとめ
 - 7週目 小テスト②（動詞ser），動詞estarの直説法現在
 - 8週目 動詞estarと動詞serの比較
 - 9週目 動詞estarと動詞serの比較のまとめ
 - 10週目 小テスト③（動詞estar），直説法現在の-ar動詞，基数
 - 11週目 直説法現在の-ar動詞，疑問詞
 - 12週目 直説法現在の-er動詞
 - 13週目 直説法現在の-er動詞
 - 14週目 直説法現在の-ir動詞
 - 15週目 直説法現在-ar動詞，-er動詞，-ir動詞のまとめ。
- 31週目に期末テスト(-ar, -er, -ir)を行います。

【履修上の注意事項】

授業中の居眠り・私語は減点します。

指定学科と年次を守って下さい。

事前事後の学習に役立つeラーニング教材を用意しました。スマホやタブレットPCからの学習も可能です。授業外でも、積極的にスペイン語学習に取り組んで下さい。

【評価方法】

- 小テスト 45%
- 期末テスト 35%
- 授業外学習 20%

【テキスト】

尚真貴子・福地恭子・小波津フェルナンド・又吉パトリシア著『ディエゴと日本再発見！』朝日出版社 2013年2, 415円

【参考文献】

坂東省次著『文化と歴史で学ぶスペイン語』780円/立岩礼子・伊藤ゆかり著『スペイン語技能検定4級・5級・6級対策問題集』1500円/立岩礼子・伊藤ゆかり・福地恭子著『スペイン語技能検定6級直前対策問題』2000円

スペイン語Ⅱ

担当教員 又吉 パトリシア

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象=経済・環政・企シ・産情(月木3)、2～4年次対象=日文・英米・社文・人福(火金2)

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

スペイン語Ⅰの続きです。前期に単位取得者もしくはそれと同等の語学力を持つものを対象にするため動詞の活用が中心になりますが、今回は不規則動詞、再帰動詞の活用や現在進行形、現在完了形、過去形など少し複雑な文法事項を学びます。日常会話のより高度な段階をめざし、簡単なスペイン語文書の講読が可能になるまでの語学力の習得を目的とします。スペイン語Ⅰと同様、副教材として歌やDVD教材などを利用し文法事項およびスペインと中南米の社会、文化事情、生活習慣を紹介していきます。

【授業の展開計画】

- 1週目：前期で学んだ文法項目と表現の復習
- 2週目：不規則動詞QUERERの直説法現在形の活用
- 3週目：不規則動詞PODERの直説法現在形の活用
- 4週目：不規則動詞TENERの直説法現在形の活用
- 5週目：不規則動詞IRの直説法現在形の活用
- 6週目：SABERとCONCER動詞の現在形の活用と違い
- 7週目：助動詞のまとめと規則と不規則動詞の直説法現在形の活用の復習
- 8週目：再帰動詞の直説法現在形の活用
- 9週目：一日の行為について語る、現在分詞、直説法現在形進行形
- 10週目：スペイン語圏の国々クリスマスとお正月行事、習慣の紹介
- 11週目：過去分詞、直説法現在形完了形
- 12週目：直説法点過去形の活用
- 13週目：直説法線過去過去の活用
- 14週目：口頭テストのための作文を書く、期末テスト・回答
- 15週目：スペイン及びラテンアメリカの映画の紹介、命令形
- 16週目：前期と後期で学んだ文法項目と表現の復習とまとめ

【履修上の注意事項】

- 復習は必ずしてきてください（特に動詞の活用）。積極的な授業への参加が望めます。
- 毎回テキストとノートを持参すること。また、配布されたプリント、資料を大事にファイルすること。
- 前学期・後学期続けて同じクラスでの授業を取ることを望む。
- スペイン語Ⅱを受講するにはスペイン語Ⅰを合格していることを条件とする。

【評価方法】

最終評価は次の点の合計点とする：

- 1) 出席(10点) 授業総時間数の1/3(10回)以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻は欠席扱いとする。
- 2) テスト(60点) 小テスト、中間及び期末テストを行う(筆記、口頭テスト)
- 3) 宿題及び課題の提出 (20点)
- 4) 授業参加、態度 (10点)

【テキスト】

『Bienvenidos a Japon!』 ディエゴと日本再発見！-初級スペイン語-
著者：尚真貴子、福地 恭子、小波津 フェルナンド、又吉 パトリシア（朝日出版社）
定価：2,300円 + 税

【参考文献】

「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社¥2,800/「西和中辞典」桑名一博、他編 小学科¥5,800/[和西辞典]有本、宮城、他 白水社¥4,500/「現代スペイン語辞典」宮城、山田、他 白水社¥4,000 ※スペイン語電子辞書も使用可

スペイン語Ⅱ

担当教員 赤嶺 恭子

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 英米（月木3）、法律・地行・人福（月木4）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

スペイン語Iで学んだ文法事項を反復練習しながら新しい事項を学んでいきます。また、スペイン語IとIIで習得した表現を用い、旅行や留学先などで簡単なコミュニケーションが行える力をつけていきます。この講義内容は文部科学省認定スペイン語技能検定5級の出題範囲です。検定試験は春と秋に実施されますので、履修後は積極的に受験して下さい。週1回、CALL教室を使用する予定です。CALL教室では、ビデオレター交換、動画作成といった様々なアクティビティを行い、スペイン語力の向上を目指します。

【授業の展開計画】

- 1週目 スペイン語Iの復習①、時刻の表現
- 2週目 スペイン語Iの復習②、hayの用法、動詞estarと動詞hayの比較、所有格形容詞
- 3週目 gustar型動詞、目的格人称代名詞
- 4週目 gustar型動詞
- 5週目 直説法現在の不規則動詞querer①
- 6週目 直説法現在の不規則動詞querer②
- 7週目 中間テスト
- 8週目 直説法現在の不規則動詞ir①
- 9週目 直説法現在の不規則動詞ir②
- 10週目 直説法現在の不規則動詞tener①
- 11週目 直説法現在の不規則動詞tener②
- 12週目 直説法現在の不規則動詞poder, saber, conocer
- 13週目 直説法完了過去の規則動詞と不規則動詞
- 14週目 再帰動詞
- 15週目 スペイン語IIの復習
- 31回目 期末テスト

【履修上の注意事項】

授業中の居眠り・私語は減点します。

スペイン語Iを履修済みであることが望ましい。

指定学科と年次を守って下さい。

事前事後の学習に役立つeラーニング教材を用意しました。スマホやタブレットPCからの学習も可能です。授業外も、積極的にスペイン語学習に取り組んで下さい。

【評価方法】

- 中間テスト 25%
- 期末テスト 25%
- 課題 25%
- 授業外学習 25%

【テキスト】

尚真貴子・福地恭子・小波津フェルナンド・又吉パトリシア著『ディエゴと日本再発見！』朝日出版社 2013年 2,415円

【参考文献】

高橋寛二著『テーブル式基礎スペイン語便覧』2300円/立岩礼子・伊藤ゆかり著『スペイン語技能検定4級・5級・6級対策問題集』1500円/立岩礼子・伊藤ゆかり・安田圭史著『スペイン語技能検定5級直前対策問題』2000円

スペイン語Ⅱ

担当教員 上地 リリア

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（月木5）

【授業のねらい】

後期は、前期を履修した上で残りの基礎を前期と同様に学び、更に教養を広める。講義ではテキスト、作成プリント、LL教材を使用する。また、ビデオを使用し、スペイン及びラテン・アメリカの事情や文化、習慣の紹介をする。特に、スペイン語を修得し、スペイン語圏（スペイン、中南米）の文化・習慣を知ることによって、相互に理解しあえるようにしたい。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Orientación (1) (2)
2	スペイン語Ⅰの復習
3	時刻の表し方
4	天候表現
5	所有形容詞
6	点過去形 -ar 規則動詞
7	点過去形 -er, -ir 規則動詞
8	復習 - 小テスト
9	線過去形 -ar動詞
10	線過去形 -er, -ir動詞・不規則動詞
11	未来形規則動詞
12	gustar 動詞 ・ 小テスト (2)
13	現在進行形規則動詞
14	再帰動詞
15	総復習
16	期末試験

【履修上の注意事項】

スペイン語Ⅰを習得した学生。
前期、後期と続けて授業を受けることを望む。
意欲的な授業参加を求める。

【評価方法】

テスト（3回×3＝90点）を行う。
発音チェック、読書テスト、自由参加など（10点）
欠席・遅刻は減点になる。
授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。

【テキスト】

授業の進行状況に沿った練習問題のプリントを使用する。

【参考文献】

スペイン語Ⅱ

担当教員 小波津 フェルナンド

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象=日文・社文(月木3)、2~4年次対象=法律・地行・経済・環政・企シ・産情(火金2)

【授業のねらい】

基礎スペイン語Ⅰの続きです。スペイン語の基礎表現を発信できることは目標にします。コミュニケーションが無ければ外国語の学習の意味とは？を課題に授業展開します。

スペイン語の複雑な文法事項に負けず、基礎スペイン語Ⅰと同様、適宜に視覚教材などを使用します。言語の学習と並行して、スペイン語圏世界の社会や文化事情に関するビデオ映像（ドキュメンタリー、映画）なども可能な限り鑑賞します。最終目標はスペイン語の特徴を理解する、基礎表現を言える、さらに色々を学びたい！

【授業の展開計画】

- 1 前期の表現と文法の復習 (Hola!, Que tal? Como estan?)
- 2 語根母音変化動詞 I: 欲する (querer)、出来る (poder) 動詞 文化コーナー: スペイン語圏への旅
- 3 所有を表す表現: tener
- 4 未来を表す表現 (ir動詞、未来形の代用): Voy a comer con mis amigos en un restaurante.
- 5 前置詞: a, de, en, con, por, paraを学ぼう!
- 6 Saberとconocer動詞、関係代名詞 文化コーナー: スペイン語圏の人物『ドン・キホーテ』
- 7 普段は何をしていますか?: 日常生活を説明する。 疑問詞
- 8 語幹母音変化動詞 I 文化コーナー: バルセロナの世界遺産
- 9 再起動詞 (立つ、起きる) 日常生活: 朝から晩までの行動を説明する
- 10 現在分詞 (進行形)・過去分詞 (現在完了) 文化コーナー: スペイン語圏の博物館
- 11 過去の表現。 点過去: 『～した』 ・ 線過去: 『～していた、～なのだが』
- 12 未来形: 『～するだろう、～だろうか』
- 13 過去未来形: 『～しただろう』 文化コーナー: スペイン語圏の食文化II
- 14 条件文 (もしも～なら、～だ)。 表現力を増やす
- 15 スペイン語Ⅱの復習とまとめ
- 16 期末試験

【履修上の注意事項】

ノートと辞書は必携です。外国語学習には単語の意味を知る必要が有ります。
指定学科と年次を守ってください。

【評価方法】

基本的に中間と期末テストの成績結果。さらに、教科書のドリル問題やタスクの完成、出席「休み・遅刻に説明が必要です。この行為はマイナス評価につながります」、授業態度 (積極性、努力、居眠りは注意されます)。

【テキスト】

朝日出版社 「ディエゴと日本再発見 - 初級スペイン語 -」 CD付 ISBN978-4-255-55058-9 C1087 Y2300E) (スペイン語名: BIENVENIDOS A JAPON!)

【参考文献】

辞書一冊: 電子辞書 か『スペイン語ミニ辞典』(白水社)』 又は『現代スペイン語辞典』(白水社)』 それとも 『西和中辞典』(小学館)』

スペイン語Ⅲ

担当教員 上地 リリア

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金2）

【授業のねらい】

スペイン語 I・II の基礎を復習した後に、ラテン・アメリカの事情を題材にした易しい読み物をテキストとして見聞を拡充し、音楽やスペイン語検定試験の問題などを用いて関心を高める。ビデオを使用し、スペイン及びラテン・アメリカの事情や文化、習慣の紹介をする。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Orientación (1) (2)
2	スペイン語 I-II の復習
3	現在不規則動詞 (1)
4	現在不規則動詞 (2)
5	会話練習 (1)
6	点過去形不規則動詞 (1)
7	点過去形不規則動詞 (2)
8	線過去形不規則動詞
9	復習・テスト
10	未来形規則動詞
11	未来形不規則動詞
12	過去未来形規則・不規則動詞
13	現在進行形規則動詞
14	会話練習 (2)
15	関係代名詞 / 総復習
16	オーラルテスト

【履修上の注意事項】

二重登録のないように注意してください。
スペイン語 I、II を習得済みの学生。

【評価方法】

テスト (2回) を行う。
発音、会話のオーラルチェックを行う。
授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。

【テキスト】

授業の進行状況によって作成プリントを使用する。

【参考文献】

スペイン語Ⅳ

担当教員 上地 リリア

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金2）

【授業のねらい】

後期は、前期を履修した上でテキストの残りを、前期と同様に学び、更に教養を深める。また、ビデオを用いて、スペイン及びラテン・アメリカの事情や文化、習慣を紹介することによって、記憶に残る教養を身に付けたい。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Orientación、Encuesta
2	スペイン語Ⅲの復習
3	現在進行形不規則動詞
4	目的格人称代名詞
5	接続法現在形（1）
6	接続法現在形（2）
7	復習
8	テスト（1）
9	比較級
10	接続法過去（1）
11	接続法過去（2）
12	直説法完了過去
13	復習 ・ 会話練習
14	命令形
15	総復習
16	オーラルテスト（2）

【履修上の注意事項】

前期、後期と続けて授業を受けることを望む。
 スペイン語をⅠ、Ⅱ、Ⅲを取得済みの学生。
 継続は力なり。

【評価方法】

テスト2回行う。
 発音、会話のオーラルチェックを行う。
 欠席・遅刻、居眠りは減点になる。
 授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。

【テキスト】

授業の進行状況によって作成したプリントを使用する。

【参考文献】

中国語 I

担当教員 島袋 直樹

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 英米（月木3）、法律（月木4）

【授業のねらい】

このクラスは、はじめて中国語を学ぶ学生を対象とし、聞いて話せる実用的な中国語の習得を目指す。「読み」「書き」「聞く」「話す」の基礎的な学習を行うが、前期では特に発音と声調（イントネーション）の習得に重点をおく。初学者でも正確な発音ができるように一つずつ積み重ねながら指導していく。簡単な会話ができるように基本語彙と基本文型を習得する。インターネットなどを使って中国文化への関心と理解を深めていくようにする。

【授業の展開計画】

第1週：授業のガイダンス、第1課から第3課（発音「母音」、「声調」）
第2週：第1課から第3課（発音「母音」、「声調」）
第3週：第1課から第3課（発音「母音、子音」、「声調」）
第4週：第1課から第3課（発音「母音、子音」、「声調」）、発音の総復習
第5週：第4課（挨拶、数字など）
第6週：第6課（名前の尋ね方と答え方など）
第7週：第5課（動詞述語文、形容詞述語文、主述述語文など）
第8週：第5課
第9週：第5課
第10週：第7課（動詞「是」、「的」の使い方など）
第11週：第8課（動詞「在」、方位詞など）
第12週：第8課
第13週：第9課（名詞述語文、月日・曜日・時間の言い方など）
第14週：第9課
第15週：復習
第16週：復習、テスト

【履修上の注意事項】

発音や声調のチェック、基本文の暗誦など声を出すことが求められる。遅刻、欠席はしないこと。指定学科と年次を守って下さい。

【評価方法】

「習得度測定テスト1」50%、「各種テスト」50%とし、「出席・授業態度（積極的参加、努力）」などを加味して評価する。

【テキスト】

『初級中国語 教科書＋参考書』小川郁夫著（白帝社）

【参考文献】

必要に応じて授業中に紹介する。

中国語 I

担当教員 一金田 知子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 日文（月木3）、人福（月木4）

【授業のねらい】

本授業では、まず中国語の発音構造を理解させ、基本語彙、表現を繰り返し、練習を行います。また、基本的な文法項目を理解させた上、簡単な会話や自己紹介などができることを目指します。

初めて中国語を学ぶ人でも楽しめるレッスンであるように心がけ、講義を進めながら、中国人のものの考え方、生活習慣などを紹介し、中国語を習得すると共に異文化理解を深めていくことも目標とします。

但し、平成26年度より、全校中国語 I・II を選択した学生対象に「統一試験」が行われることとなります。

【授業の展開計画】

*習熟度により多少変更あり。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	概要説明	17	映像で中国を知る
2	第1課 声調、単母音	18	第8課 文法、会話
3	複合母音、声調符号の付け方	19	チャレンジ、ドリル、小テスト
4	第2課 子音(1)	20	第9課 文法、会話
5	子音(2)	21	チャレンジ、ドリル、小テスト
6	第3課 鼻母音、軽声	22	第10課 文法、会話
7	親族名称、人称代名詞	23	チャレンジ、ドリル、小テスト
8	第4課 声調変化、r化音	24	第11課 文法、会話
9	声調の組み合わせ、挨拶言葉	25	チャレンジ、ドリル、小テスト
10	ピンインテスト	26	第12課 文法、会話
11	第5課 文法、会話	27	チャレンジ、ドリル、小テスト
12	チャレンジ、ドリル、小テスト	28	第13課 文法、会話
13	第6課 文法、会話	29	チャレンジ、ドリル、小テスト
14	チャレンジ、ドリル、小テスト	30	総復習
15	第7課 文法、会話	31	期末試験
16	チャレンジ、ドリル、小テスト		

【履修上の注意事項】

- ①中国語を学ぶ第一歩は発音である。発音を正確にできるためには、声を出すことが要求される。
- ②毎課ごとに小テストがある。
- ③遅刻、授業中の携帯電話の使用、私語等が禁じられる。
- ④原則として追加試験、再試験は実施しない。
- ⑤日本文化学科と人間福祉学科の一年次のみ受講できる。

【評価方法】

習得度測定テスト(全校統一テスト)	50%
小テスト	40%
出席状況	10%

【テキスト】

『大学生のための 初級中国語24回』 杉野元子・黄漢青 著 白帝社

【参考文献】

『北京の街角で』（本校CALL教室）

中国語 I

担当教員 顔 瑾

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 全学科（全学年）対象（月木5）

【授業のねらい】

中国語初級レベルの会話力を身につけ、実際に応用できる中国語の習得を目指します。正しい発音のマスターに重点を置き、声調と発音の練習を重ね、初心者でも正確に発音できるように指導します。教科書を使い、聞く・話す・読む・書く訓練を繰り返し、基本文型、会話力をしっかり修得することを目標とします。また、異文化への理解を深めるために中国の生活習慣や社会文化も紹介します。

【授業の展開計画】

週 2 回の授業があります。

1. オリエンテーション、中国語について
2. 中国語の発音① 声調、音節
3. 中国語の発音② 母音
4. 中国語の発音③ 子音①
5. 中国語の発音④ 子音②
6. 発音のまとめ・復習
7. 名前の言い方、人称代名詞
8. 動詞「是」、助詞「的」
9. 基本文型 S + V + O
10. 希望や願望を表す助動詞「想」、動詞「有」
11. 動詞「在」、方向位置と場所を表す言葉
12. 数の言い方、お金の言い方など
13. 年月日、曜日の言い方、年齢の言い方など
14. 量詞、動詞の重ね型
15. 時刻の言い方、「了」の使い方①
16. 復習、期末テスト

【履修上の注意事項】

このクラスは全学年、全学科の学生が登録可能です。中国語に興味を持ち、積極的に取り込む学生を歓迎します。

【評価方法】

全学すべての中国語 I の共通テスト（※1）50%

本クラスでの評価（※2）50%

※1. 発音の習得を確認するために、全学すべての中国語 I クラスに共通の「ピンイン習得度テスト」

※2. 本クラスの豆テストや期末テスト及び出席など、総合して評価します。

【テキスト】

『しゃべっていいとも 中国語』朝日出版社

【参考文献】

講義中に適宜紹介します。

中国語 I

担当教員 車 莉莉

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年企シ・産情（月木3）、2～4年英米・経済・環政・法律・地行（月木4）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

中国語 I

担当教員 張 維 真

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行・経済・環政・企シ・産情（火金2）

【授業のねらい】

中国語の基礎な発音をマスターし、実践的な会話力を身につける。

授業では特に発音や声調の習得に重点をおく。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	登録の確認、授業内容説明
2	中国語で名前を呼ぶ、四声の練習
3	四声の復習、有気音・無気音の練習
4	気音の復習、母音の紹介
5	小テスト、鼻音の練習
6	巻舌音の練習
7	複合母音と特別な子音の練習
8	発音の 総合復習、第一課
9	発音小テスト、 第二課
10	第一、二課の演習とチェック
11	小テスト、第三課
12	第四課
13	第五課
14	統一テストの対策、第六課
15	期末テストの範囲の復習
16	期末テスト

【履修上の注意事項】

履修者は二年次からです。

出席率を重視します。語学学習は継続的な教師による直接指導が大事です。特に中国語は発音が難しく、さらに四声という声調があります。発音と声調は教師の細かい指導を受けなければマスターできません。簡単な作文力そして基礎的な会話力のアップをはかるために、教科書の中の単語や重要構文も一部あんきしてもらわなければなりません。100%の出席をめざしてください。

【評価方法】

評価の50%は習得度測定テストで、残る50%は毎課の理解度チェックや筆記テスト及び授業態度・出席率を加味して行います。

【テキスト】

たのしくできる We Can! 中国語 初級
 監修 佐藤晴彦 著者 徐送迎 朝日出版社

【参考文献】

授業中に随時紹介します。

中国語 I

担当教員 一児玉 啓子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次対象：社文（月木3）

【授業のねらい】

1年間を通して、中国語の基礎力を養成します。

- 1, 中国語の基本技能（発音、ピンインの読み書き、声調）の習得を目標にします。
- 2, 教科書の内容に基づいて、会話練習を詞、中国語の構造について解説を加えます。
- 3, 応用練習を通して、基本会話を習得し、コミュニケーション能力を高めます。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	1, オリエンテーション、2, 中国語について、3, 中国語の発音
2	中国語の発音（声調、単母音、複合母音、子音）練習
3	中国語の発音練習、第1課 声調 単母音 複母音 声調の付け方 小テスト
4	第2課 発音の復習、 21の 子音 小テスト
5	第3課 発音の復習、鼻母音、軽声、親族名称、人称代名詞
6	第4課 声調変化 第3声・不・一の声調変化
7	第5課 動詞、疑問文、名前の聞き取り方と答え方 テスト
8	第6課 動詞述語文 選択疑問文
9	第7課 疑問文「呢」 指示代名詞 「的」
10	第8課 疑問詞疑問文 助動詞「想」 時間を表すことば
11	第9課 形容詞述語文 反復疑問文 「吧」 テスト
12	第10課 所有を表す表現 量詞 「几」「多少」
13	第11課 文末の「了」 時刻の表し方 前置詞「在」
14	第12課 連動文 時間の表し方 年月日 曜日 疑問詞「怎么」
15	第13課 指示代名詞 方位詞 復習
16	復習 学期末テスト

【履修上の注意事項】

指定学科と学年を守ってください。

優先順位は、1年次、4年次、2年次、3年次の順です。

テキストおよびノートは必ず持参してください。

ほとんど毎回、習熟度テストを行いますので、前回の授業内容を復習しておくようにしてください。

【評価方法】

- ・学期末には、単語のピンイン（発音、声調）の中国語受講者全員を対象とする統一テストが行われます。そのテストで、50点以上の成績を取得することが必要です。
- ・小テストの成績（20%）、中間試験（30%）、期末試験の成績（40%）、授業中に実施される口頭テスト（教科書の読み方の正確さ）（5%）、課題などの提出物（5%）を総合的に加点します。

【テキスト】

『大学生のための 初級中国語 24回』 杉野 元子・黄漢青 著 （白帝社）

【参考文献】

クラス内で適宜紹介します。

中国語 I

担当教員 田添 暢彦

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 経済・環政（月木3）、地行（月木4）

【授業のねらい】

中国語の音声に慣れ、ピンイン表記を正確に習得し、基礎語彙と文法の基本事項の習得を目指す。

【授業の展開計画】

読む・書く・話す・聞くの4技能のバランスよい習得を目指します。受講者はほぼ毎回発言の機会があります。

週	授 業 の 内 容
1	導入と動機付け。中国語の概要、中国語を学ぶメリットとは？
2	ピンイン表記と発音（1）あいさつ表現
3	ピンイン表記と発音（2）自己紹介
4	ピンイン表記と発音（3）「これは私の本です」
5	ピンイン表記と発音の総まとめ 前半の総復習
6	「我が家は3人家族です」
7	「私は10月2日生まれです」
8	年月日、曜日の言い方 語気助詞「了」 疑問詞「多」
9	「今、12時半です」
10	時間を表す語句 連動文 完了を表す「了」 動作の持続時間
11	「我が家は東京にあります」
12	場所を表す指示代名詞 存在を表す「在」 介詞
13	「私は日本食が好きです」
14	動詞「喜歡」 部分否定を表す「不太」過去の経験を表す「過」離合詞 動詞の重ね型
15	前期のまとめ テスト前の質問タイム
16	学期末テスト

【履修上の注意事項】

中国語 I の単位が取得できなかった人は後期の中国語 II を履修できないので注意すること。

【評価方法】

毎回授業の最後に行う課題が50%、学期末に行われる全クラス共通の「ピンイン習得度テスト」が50%。従って、ただ出席しているだけでは単位は取得できません。「ピンイン習得度テスト」で及第点が得られるように積極的に学んでください。3分の1以上欠席すると不可になります。

【テキスト】

開講時に指示します。

【参考文献】

木村英樹（1996）『中国語ははじめの一步』ちくま新書
 相原茂ほか共著（1996）『Why?にこたえる中国語のはじめての文法書』同学社
 白井恭弘『外国語学習に成功する人、しない人』岩波科学ライブラリー 岩波書店

中国語Ⅱ

担当教員 金田 知子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 日文（月木3）、人福（月木4）

【授業のねらい】

本授業は中国語Ⅰの引き続きです。発音の練習を繰り返しながら基本的な文法項目を理解し、簡単な会話や自己紹介など短い文章作成ができることを目標とします。また、中国語検定試験4級に合格を目指して模擬問題を取り組んで練習する予定です。

中国語を習得すると共に異文化理解を深めていくことも目標とします。

後期では、「ピンイン習得度テスト」を前期と同様に行います。また、「基本文型理解度テスト」を1月に全校で行います。

【授業の展開計画】

*習熟度により多少変更あり。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	前期の復習	17	第20課 文法
2	第14課 文法、会話	18	会話、チャレンジ
3	チャレンジ、ドリル、小テスト	19	ドリル、小テスト
4	第15課 文法、会話	20	第21課 文法
5	チャレンジ、ドリル、小テスト	21	会話、チャレンジ
6	第16課 文法、会話	22	ドリル、小テスト
7	チャレンジ、ドリル、小テスト	23	第22課 文法
8	第17課 文法	24	会話、チャレンジ
9	会話、チャレンジ	25	ドリル、小テスト
10	ドリル、小テスト	26	第23課 文法
11	第18課 文法	27	会話、チャレンジ
12	会話、チャレンジ	28	ドリル、小テスト
13	ドリル、小テスト	29	第24課 文法
14	第19課 文法	30	会話、チャレンジ
15	会話、チャレンジ	31	ドリル、小テスト
16	ドリル、小テスト		

【履修上の注意事項】

- ①履修者は中国語Ⅰの単位を取得したものに限る。
- ②毎課ごとに小テストがある。
- ③遅刻、授業中の携帯電話の使用、私語等が禁じられる。
- ④原則として追試験、再試験は実施しない。
- ⑤日本文化学科と人間福祉学科の一年次のみ受講できる。

【評価方法】

習得度測定テスト(全校統一テスト)	50%
小テスト	40%
出席状況	10%

【テキスト】

『大学生のための 初級中国語24回』 杉野元子・黄漢青 著 白帝社

【参考文献】

『北京の街角で』（本校CALL教室）

中国語Ⅱ

担当教員 車 莉莉

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年企シ・産情（月木3）、2～4年英米・経済・環政・法律・地行（月木4）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

中国語Ⅱ

担当教員 顔 瑾

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 全学科（全学年）対象 （月木5）

【授業のねらい】

前期に引き続き、中国語初級レベルの会話力を身につけ、実際に応用できる中国語の習得を目指します。

前期で学習したポイントを復習・強化しながら、正確な発音の定着、初級レベルの短文の理解と作文、日常会話によるコミュニケーションができることを目標とします。更に、中国語検定試験に向けて、練習や模擬問題を講義中に取り込み、中国語検定試験4級レベルの合格を目指します。

【授業の展開計画】

週2回の授業があります。

1. オリエンテーション、前期の復習
2. 時間の長さの言い方、「了」の使い方②
3. 助動詞「可以」、「能」など
4. 助動詞「会」など
5. 2重目的語をとる動詞など
6. 経験を表す動詞「過」など
7. 助動詞「得」など
8. まとめ、復習
9. 結果補語、様態補語
10. 比較表現など
11. 方向補語①
12. 方向補語②、「把」構文
13. 程度補語、可能補語
14. 受け身表現など
15. 使役表現など
16. 復習、期末テスト

【履修上の注意事項】

中国語Iを履修済みか同等以上レベルの学生を対象とします。このクラスは全学年、全学科の学生が登録可能です。

【評価方法】

全学すべての中国語IIの共通テスト（※1）50%、本クラスでの評価（※2）50%

※1. 後期で「ピンイン習得度テスト（後期用）」を前期と同様に行います。また、「基本文型理解度テスト」を1月末に行います。

※2. 本クラスの豆テストや期末テスト及び出席など、総合して評価します。

【テキスト】

『しゃべっていいとも 中国語』 朝日出版社

【参考文献】

講義中に適宜紹介します。

中国語Ⅱ

担当教員 島袋 直樹

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 英米（月木3）、法律（月木4）

【授業のねらい】

このクラスは、中国語Ⅰを履修した者あるいは同等以上の能力を有する者を対象に、聞いて話せる実用的な中国語の習得を目指す。正確な発音と声調の定着を目指すとともに、「読み」「書き」「聞く」「話す」の基礎的な学習事項を進めていく。

【授業の展開計画】

第1週：授業のガイダンス、前期の復習
第2週：前期の復習
第3週：第10課（動詞「有」、人やモノの数え方など）
第4週：第11課（「100」以上の数字、お金の数え方など）
第5週：第12課（動態助詞など）
第6週：第13課（動態助詞、選択疑問文など）
第7週：第13課
第8週：第14課（前置詞など）
第9週：第15課（「ちょっと・・・する」の言い方など）
第10週：第16課（助動詞、補語など）
第11週：第16課
第12週：第17課（補語など）
第13週：第17課
第14週：第18課（「・・・ている」の言い方など）
第15週：第18課、復習
第16週：復習、テスト

【履修上の注意事項】

中国語Ⅱは中国語Ⅰを履修済みの学生が登録できる。
発音や声調のチェック、基本文の暗誦など声を出すことが求められる。遅刻、欠席はしないこと。
指定学科と年次を守って下さい。

【評価方法】

「習得度測定テスト2」50%、「各種テスト」50%とし、「出席・授業態度（積極的参加、努力）」などを加味して評価する。

【テキスト】

『初級中国語 教科書＋参考書』小川郁夫著（白帝社）

【参考文献】

必要に応じて授業中に紹介する。

中国語Ⅱ

担当教員 一児玉 啓子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次対象：社文（月木3）

【授業のねらい】

1年間を通して、中国語の基礎力を身につけ、中国語でのコミュニケーション能力を高めることを目指します。

- 1, 前期に引き続き、中国語のピンイン、発音、声調をマスターし、基礎レベルの構文に習熟します。
- 2, 基本的な会話がスムーズに行えるようにします。
- 3, 最終的には、中国語検定試験4級～3級レベルに到達できることを目標とします。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	後期の授業計画 履修上の注意 前期の復習 小テスト
2	第14課 動詞後の「了」 動詞の重ね型 前置詞「□」
3	第15課 経験を表す「□」 動作量の補語 前置詞「□」 小テスト
4	第16課 時間量 時間量補語 前置詞「从」「到」「离」
5	第17課 助動詞「会」「能」 主述述語文 小テスト
6	第18課 比較を表す文 「多」+形容詞 年齢の尋ね方
7	第19課 「是～的」構文 100以上の数 金額の言い方 テスト
8	第20課 状態補語 二重目的語 「有点儿」
9	第21課 方向補語 進行の「在」 禁止の表現 小テスト
10	第22課 結果補語 処置文 助動詞「可以」
11	第23課 受け身文 使役文 補語のまとめ
12	第24課 近い未来 「越来越～」 複文
13	テスト まとめ
14	応用会話
15	応用会話
16	まとめ テスト

【履修上の注意事項】

「中国語Ⅰ」を履修済みで単位を取得しており、またウェブ上の統一テストである「習熟度テスト1」の結果が50%以上の合格点である学生は登録できます。

登録受付は、1年、4年、2年、3年の順番になります。

【評価方法】

年末に、中国語履修者全員が受験する「習熟度測定テスト2」が実施されます。このテストの結果が50%以上の学生が単位認定の対象となります。習熟度測定テストの構成はおもに、1, ピンインの習熟度、2, 声調の聞き取り、3, 基本語彙、4, 基本文型となっています。

中間試験（35%）、期末試験の点数（35%）、小テストの点数（10%）、本文の読み方（発音、声調が正しく読めているか）（10%）、課題の提出（10%）などの結果を総合的に評価します。

【テキスト】

『大学生のための 初級中国語 24回』 杉野 元子・黄漢青著 （白帝社） ￥2400＋税

【参考文献】

『中国語検定4級 一ヶ月でできる総仕上げ』 白帝社

『中国語検定3級 1ヶ月でできる総仕上げ』 白帝社

中国語Ⅱ

担当教員 一児玉 啓子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行（月木4）

【授業のねらい】

前期に習得した事項を確認しながら、中国語を読み、書き、話し、聞く能力の向上をはかる。現代中国事情にも可能な限り触れ、最終的に受講者がそれぞれの専攻に関連する事柄を辞書を引きながら独力で調べられるようになることを目指す。

【授業の展開計画】

週2回の授業のうち以下にカギ括弧を付した「基本フレーズ」を中心とした会話練習と文法項目の整理を交互に行う。途中幾度か復習のみの授業をもうけ知識の定着をはかる。

週	授 業 の 内 容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	「把」文型 方向補語（2）助動詞「要」
14	「左に曲がってまっすぐ行けばつきます」
15	「もうすぐテストです」
16	学期末試験

【履修上の注意事項】

前期に中国語Ⅰの単位を認定されなかった人は後期の中国語Ⅱを履修できないので注意してください。

【評価方法】

毎回授業の最後に行う課題が50%、学期末に行われる全クラス共通の「習得度テスト」が50%。従って、ただ出席しているだけでは単位は取得できません。「ピンイン習得度テスト」で及第点が得られるように積極的学んでください。3分の1以上欠席すると不可になります。

【テキスト】

前期のテキストを継続して使用します

【参考文献】

木村英樹（1996）『中国語はじめての一步』ちくま新書
 相原茂・石田知子・戸沼市子 共著（1996）『Why?にこたえる はじめての 中国語の文法書』 同学社
 白井恭弘 『外国語学習に成功する人、しない人』岩波科学ライブラリー 岩波書店

中国語Ⅱ

担当教員 張 維 真

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行・経済・環政・企シ・産情（火金2）

【授業のねらい】

中国語の基礎な発音をマスターし、実践的な会話力を身につける。

授業では特に発音や声調の習得に重点をおく。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	第1～6課の復習
2	第7課
3	第8課
4	第9課
5	第10課
6	第11課
7	第12課
8	第13課
9	第14課
10	第15課
11	第16課
12	第17課
13	会話文の作成と発表
14	習得度測定テストの対策
15	期末テストの範囲の復習
16	期末テスト

【履修上の注意事項】

履修者は二年次からです。

出席率を重視します。語学学習は継続的な教師による直接指導が大事です。特に中国語は発音が難しく、さらに四声という声調があります。発音と声調は教師の細かい指導を受けなければマスターできません。簡単な作文力そして基礎的な会話力のアップをはかるために、教科書の中の単語や重要構文も一部あんきしてもらわなければなりません。100%の出席をめざしてください。

【評価方法】

評価の50%は習得度測定テストで、残る50%は毎課の理解度チェックや筆記テスト及び授業態度・出席率を加味して行います。

【テキスト】

たのしくできる We Can! 中国語 初級
 監修 佐藤晴彦 著者 徐送迎 朝日出版社

【参考文献】

授業中に随時紹介します。

中国語Ⅲ

担当教員 兼本 敏

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金2）

【授業のねらい】

本講義は基礎中国語を履修した学生を対象としている。授業では初習段階での復習で発音や聴解力を深める。具体的な目標として学内中国語スピーチコンテストへの原稿作りができるレベル、中国語検定4～3級の作文力と読解力を旨す。

【授業の展開計画】

本講義は週二回の講義形態で、15週（30回）＋定期試験（2回）により構成される。下記の文法項目の学習を交えながら講義（文法解説、語彙解説）と問題を解説する。

週	授 業 の 内 容
1	自己紹介とオリエンテーション（履修上の注意と約束事）
2	習得度測定テスト 分析と結果
3	疑問文の総復習 形容詞・動詞・名詞構文について
4	副詞（場所・時間・方法・様態）
5	完了の“了” と 変化の“了”
6	補語（結果・方向・可能）
7	比較の文型
8	連動文 助動詞
9	中間テスト
10	解答と総復習
11	短文朗読
12	短文朗読
13	和・中訳文の練習
14	和・中訳文の練習
15	総復習
16	試験

【履修上の注意事項】

中国語1・2が履修済みであること。
中国語スピーチコンテストに参加するための訓練を行う。

【評価方法】

主に学期末の期末試験の成績を基準に成績評価を行うが、中国語スピーチコンテストの取り組みや諸課題の提出状況、さらに、出席状況、学習態度なども加味する。

【テキスト】

前半は中国語Ⅰ・Ⅱで使用した教科書を使用。
後半はプリントを配布。e-learningを活用する。

【参考文献】

辞書、その他、参考書や検定試験問題集

中国語Ⅳ

担当教員 兼本 敏 (金 2)

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科 (火金 2)

【授業のねらい】

本講義は実社会で使われる中国語表現（口語会話）以外にEメールの書き方などを修得する。また、検定試験の回答を通して語彙力を高める。Webによる中国語のサイトを検索し、中国文化や現代社会の出来事を調べる能力を培う。

【授業の展開計画】

本講義は週二回の講義形態で構成される。後期前半はスピーチコンテストの準備練習を中心におこなう。火曜日は教科書と検定試験などの過去問を回答、解説を行う。金曜日は適宜にWebを使った検索課題をあたえる。

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	中国語スピーチコンテスト練習と指導
3	中国語スピーチコンテスト練習と指導
4	既習事項の総復習
5	朗読：中国の文化
6	朗読：中国の文化
7	朗読：日本の文化
8	朗読：日本の文化
9	口頭発表：日本の文化を紹介する
10	口頭発表：日本の文化を紹介する（口頭発表）
11	検索課題の選択
12	検索結果の発表準備
13	検索結果の口頭発表
14	模擬試験（聴解）
15	模擬試験（長文読解）
16	学期末試験

【履修上の注意事項】

中国語1・2が履修済みであること。
中国語スピーチコンテストに参加する準備を行う。

【評価方法】

主に学期末の期末試験の成績を基準に成績評価を行うが、中国語スピーチコンテストの取り組み状況、さらに、教室内で中国語による会話への参加頻度、出席状況、学習態度なども加味する。

【テキスト】

中国語Ⅲで決定した教科書を継続使用

【参考文献】

辞書
検定問題集など

ドイツ語 I

担当教員 クラウス・フランケ（月）、漆谷球美子（木）

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 【年次・学科指定】1年次 人福（月木4）

【授業のねらい】

この授業は、現代口語ドイツ語をはじめて学習する学生を対象としています。ドイツ語の基本構造を理解し読み、書き、聴き、話すの習得を目指す。ドイツ語の発音ができるようになることに重点を置きます。口頭による練習が中心になります。間違ってもあたりまえだと思って、声を出してください。また、ドイツ事情、ドイツ文化を知ること重要です。

【授業の展開計画】

- 1週： 担当者の自己紹介 授業に関するガイダンス、Das Alphabet
- 2週： 発音、 母音、二重母音
- 3週： 発音、 子音
- 4週： Lektion 1 自己紹介, Selbstvorstellung 現在人称変化： 規則動詞・sein
- 5週： Lektion 1 疑問詞のある疑問文、Ja/Neinで答える疑問文
- 6週： Lektion 2 余暇 Freizeit 現在人称変化： 不規則変化動詞・haben
- 7週： Lektion 2 否定疑問文の用法、動詞の名詞化、語順
- 8週： Lektion 2 否定詞、1課・2課のまとめ(動詞の人称変化を中心に)
- 9週： Lektion 3 持ち物 Gegenstände 名詞の性、定冠詞、不定冠詞
- 10週： Lektion 3 否定冠詞、所有冠詞
- 11週： Lektion 3 人称代名詞の1格と4格、名詞の複数形
- 12週： Lektion 4 家族 Familie 格変化
- 13週： Lektion 4 人称代名詞の3格
- 14週： Lektion 4 否定詞nichtと否定冠詞kein
- 15週： 3課・4課のまとめ(名詞の格変化を中心に)
- 16週： 期末試験

【履修上の注意事項】

ドイツ人と日本人のチームで授業をします。学科指定をまもってください。しかし、登録者がアンバランスの場合、クラス間で調整します。テキストと『独和辞典』を持って出席すること。発音になれるため、授業の前にテキストについているCDを聞いておいてください。また、適時、授業中に小テストをおこなうこともあります。

【評価方法】

出席と課題、小テスト、期末試験で評価する。

【テキスト】

『入門ドイツ語プラクティッシュ』（三修社） 9784384122633 (I S B N)

【参考文献】

独和辞典： エクセル独和辞典(郁文堂)、アポロン独和辞典(同学社)、アクセス独和辞典(三修社)など。いずれかを用意してください。

ドイツ語 I

担当教員 漆谷 球美子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2学年以上全学科対象（月木5）

【授業のねらい】

この授業は、初めてドイツ語を学ぶ学生を対象としたクラスです。ドイツ語の基本情報を理解すること、ペアワークを通してドイツ語でのコミュニケーション能力の向上をめざします。またドイツ文化・ドイツ事情も紹介していきたいと思えます。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション、Das Alphabet	17	Lektion2 余暇 Freizeit
2	発音	18	Lektion2 余暇 Freizeit
3	発音	19	Lektion2 小テスト、Lektion3
4	Lektion1 自己紹介 Selbstvorstellung	20	Lektion3 持ち物 Gegenstände
5	Lektion1 自己紹介 Selbstvorstellung	21	Lektion3 持ち物 Gegenstände
6	Lektion1 自己紹介 Selbstvorstellung	22	Lektion3 持ち物 Gegenstände
7	Lektion1 自己紹介 Selbstvorstellung	23	Lektion3 持ち物 Gegenstände
8	Lektion1 自己紹介 Selbstvorstellung	24	Lektion3 持ち物 Gegenstände
9	Lektion1 自己紹介 Selbstvorstellung	25	Lektion3 持ち物 Gegenstände
10	Lektion1 自己紹介 Selbstvorstellung	26	Lektion3 小テスト、Lektion4
11	Lektion1 小テスト、Lektion2 余暇	27	Lektion4 家族 Familie
12	Lektion2 余暇 Freizeit	28	Lektion4 家族 Familie
13	Lektion2 余暇 Freizeit	29	Lektion4 家族 Familie
14	Lektion2 余暇 Freizeit	30	Lektion4 家族 Familie
15	Lektion2 余暇 Freizeit	31	期末試験
16	Lektion2 余暇 Freizeit		

【履修上の注意事項】

必ず教科書と『独和辞典』を持参して出席してください。（電子辞書可、下記の辞書を参考にしてください）

【評価方法】

出席、課題、小テスト、発表、期末試験で総合的に評価する。

【テキスト】

『入門ドイツ語プラクティッシュ』三修社（ISBN）978-4-384-12263-3

【参考文献】

独和辞典：『エクセル独和辞典』（郁文堂）、『アポロン独和辞典』（同学社）、『アクセス独和辞典』（三修社）など。

ドイツ語 I

担当教員 東江 貴子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 【年次・学科指定】 2・3・4年次 全学科 (火金2)

【授業のねらい】

正しく発音が出来ること。人称代名詞を覚え、規則動詞の人称変化が正しくできるようになること。不規則動詞のsein動詞とhaben動詞は正しく覚え、基礎知識をつかむこと。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	登録ガイダンス、発音、挨拶、Selbstvorstellung自己紹介
2	規則動詞と不規則動詞seinの現在人称変化
3	規則動詞、否定詞nicht
4	規則動詞と疑問文
5	不規則動詞
6	不規則動詞、否定疑問文の用法
7	規則動詞と不規則動詞現在人称変化のまとめ
8	前期中間試験
9	名詞の性
10	定冠詞と不定冠詞1格4格
11	不定冠詞類、所有冠詞
12	人称代名詞
13	定冠詞類
14	数字、買い物、注文
15	人称代名詞格変化まとめ、指示代名詞、keinとnicht
16	前期期末試験

【履修上の注意事項】

登録期間内にテキストを購入し、可能なら辞書を持参の上、併用してご活用ください。
登録期間は出席して下さい。登録者が多い場合、登録期間に出席した学生を優先します。

【評価方法】

出席状況、授業内での課題、自主学習課題提出などは重視します。試験の点数は大学の規定に添って成績評価します。

【テキスト】

入門ドイツ語プラクティッシュPraktisch.de (CD付き) 2,700円+税 三修社

【参考文献】

ドイツ語 I

担当教員 クラウス・フランケ(月)、吉井巧一(木)

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 【年次・学科指定】1年次 経済・環政・企シ・産情・英米(月木3)

【授業のねらい】

この授業は、現代口語ドイツ語をはじめて学習する学生を対象としています。ドイツ語の基本構造を理解し、読み、書き、聴き、話すの習得を目指す。特に、ドイツ語の発音ができるようになることに重点を置きます。口頭による練習が中心になります。間違ってもあたりまえだと思って、声を出してください。また、ドイツ事情、ドイツ文化を知ること重要です。

【授業の展開計画】

- 1週： 担当者の自己紹介 授業に関するガイダンス、Das Alphabet
- 2週： 発音、 母音、二重母音
- 3週： 発音、 子音
- 4週： Lektion 1 自己紹介 Selbstvorstellung 現在人称変化： 規則動詞・sein
- 5週： Lektion 1 疑問詞のある疑問文、Ja/Neinで答える疑問文
- 6週： Lektion 2 余暇 Freizeit 現在人称変化： 不規則動詞・haben
- 7週： Lektion 2 否定疑問文の用法、動詞の名詞化、語順
- 8週： Lektion 2 否定詞、1課・2課のまとめ(動詞の人称変化を中心に)
- 9週： Lektion 3 持ち物 Gegenstände 名詞の性、定冠詞、不定冠詞
- 10週： Lektion 3 否定冠詞、所有冠詞
- 11週： Lektion 3 人称代名詞の1格と4格、名詞の複数形
- 12週： Lektion 4 家族 Familie 格変化
- 13週： Lektion 4 人称代名詞の3格、
- 14週： Lektion 4 否定詞nichtと否定冠詞kein
- 15週： 3課・4課のまとめ(名詞の格変化を中心に)
- 16週： 期末試験

【履修上の注意事項】

ドイツ人と日本人のチームで授業をします。指定学科をまもってください。しかし、登録者がアンバランスの場合、クラス間で調整します。テキストと『独和辞典』を持って出席すること。発音になれるため、授業の前にテキストについているCDを聞いておいてください。また、適時、授業中に小テストをおこなうこともあります。

【評価方法】

出席と課題、小テスト、期末試験で評価する。

【テキスト】

『入門ドイツ語プラクティッシュ』(三修社) 9784384122633(I S B N)

【参考文献】

独和辞典： エクセル独和辞典(郁文堂)、アポロン独和辞典(同学社)、アクセス独和辞典(三修社)など。いずれかを用意してください。

ドイツ語 I

担当教員 漆谷球美子（月）、クラウス・フランケ（木）

対象学年 1年

開講時期 前期

単位区分 選択

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 【年次・学科指定】1年次 法律・地行（月木4）

【授業のねらい】

この授業は、現代口語ドイツ語をはじめて学習する学生を対象としています。ドイツ語の基本構造を理解し、読み、書き、聴き、話すの習得を目指す。特に、ドイツ語の発音ができるようになることに重点を置きます。口頭による練習が中心になります。間違ってもあたりまえだと思って、声を出してください。また、ドイツ事情、ドイツ文化を知ること重要です。

【授業の展開計画】

- 1週： 担当者の自己紹介 授業に関するガイダンス、Das Alphabet
 2週： 発音、 母音、二重母音
 3週： 発音、 子音
 4週： Lektion 1 自己紹介 Selbstvorstellung 現在人称変化： 規則動詞・sein
 5週： Lektion 1 疑問詞のある疑問文、Ja/Neinで答える疑問文
 6週： Lektion 2 余暇 Freizeit 現在人称変化： 不規則変化動詞・haben
 7週： Lektion 2 否定疑問文の用法、動詞の名詞化、語順
 8週： Lektion 2 否定詞、1・2課のまとめ(動詞の人称変化を中心に)
 9週： Lektion 3 持ち物 Gegenstände 名詞の性、定冠詞、不定冠詞
 10週： Lektion 3 否定冠詞、所有冠詞
 11週： Lektion 3 人称代名詞の1格と4格、名詞の複数形
 12週： Lektion 4 家族 Familie 格変化
 13週： Lektion 4 人称代名詞の3格
 14週： Lektion 4 否定詞nichtと否定冠詞kein
 15週： 3課、4課のまとめ(名詞の格変化を中心に)
 16週： 期末試験

【履修上の注意事項】

ドイツ人と日本人のチームで授業をします。学科指定をまもってください。しかし、登録者がアンバランスの場合、クラス間で調整します。テキストと『独和辞典』を持って出席すること。発音になれるため、授業の前にテキストについているCDを聞いておいてください。また、適時、授業中に小テストをおこなうこともあります。

【評価方法】

出席と課題、小テスト、期末試験で評価する。

【テキスト】

『入門ドイツ語プラクティッシュ』（三修社） 9784384122633 (I S B N)

【参考文献】

独和辞典： エクセル独和辞典(郁文堂)、アポロン独和辞典(同学社)、アクセス独和辞典(三修社)など。いずれかを用意してください。

ドイツ語 I

担当教員 吉井巧一（月）、クラウス・フランケ（木）

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 【年次・学科指定】1年次 日文・社文（月木3）

【授業のねらい】

この授業は、現代口語ドイツ語をはじめて学習する学生を対象としています。ドイツ語の基本構造を理解し、読み、書き、聴き、話すの習得を目指す。特に、ドイツ語の発音ができるようになることに重点を置きます。口頭による練習が中心になります。間違ってもあたりまえだと思って、声を出してください。また、ドイツ事情、ドイツ文化を知ること重要です。

【授業の展開計画】

- 1週： 担当者の自己紹介 授業に関するガイダンス、Das Alphabet
- 2週： 発音、 母音、二重母音
- 3週： 発音、 子音
- 4週： Lektion 1 自己紹介 Selbstvorstellung 現在人称変化： 規則動詞・sein
- 5週： Lektion 1 疑問詞のある疑問文、Ja/Neinで答える疑問文
- 6週： Lektion 2 余暇 Freizeit 現在人称変化： 不規則変化動詞・haben
- 7週： Lektion 2 否定疑問文の用法、動詞の名詞化、語順
- 8週： Lektion 2 否定詞、1・2かのまとめ(動詞の人称変化を中心に)
- 9週： Lektion 3 持ち物 Gegenstände 名詞の性、定冠詞、不定冠詞
- 10週： Lektion 3 否定冠詞、所有冠詞
- 11週： Lektion 3 人称代名詞の1格と4格、名詞の複数形
- 12週： Lektion 4 家族 Familie 格変化
- 13週： Lektion 4 人称代名詞の3格
- 14週： Lektion 4 否定詞nichtと否定冠詞kein
- 15週： 3課、4課のまとめ(名詞の格変化を中心に)
- 16週： 期末試験

【履修上の注意事項】

ドイツ人と日本人のチームで授業をします。指定学科をまもってください。しかし、登録者がアンバランスの場合、クラス間で調整します。テキストと『独和辞典』を持って出席すること。発音になれるため、授業の前にテキストについているCDを聞いておいてください。また、適時、授業中に小テストをおこなうこともあります。

【評価方法】

出席と課題、小テスト、期末試験で評価する。

【テキスト】

『入門ドイツ語プラクティッシュ』（三修社）9784384122633（I S B N）

【参考文献】

独和辞典： エクセル独和辞典(郁文堂)、アポロン独和辞典(同学社)、アクセス独和辞典(三修社)など。いずれかを用意してください。

ドイツ語Ⅱ

担当教員 クラウス・フランケ（月）、漆谷 球美子（木）

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 【年次・学科指定】 1年次 人福（月木4）

【授業のねらい】

ドイツ語Ⅰを受けて、同一のテキストで、授業を継続する。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

ドイツ語Ⅰと同じ。

【評価方法】

ドイツ語Ⅰと同じ。

【テキスト】

ドイツ語Ⅰと同じ。

【参考文献】

ドイツ語Ⅱ

担当教員 漆谷 球美子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2年次以上全学科対象 (月木5)

【授業のねらい】

『ドイツ語Ⅰ』を履修済みの学生を対象としています。『ドイツ語Ⅰ』で学んだ内容をふまえ、更なるドイツ語力の向上を目指します。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	イントロダクション、前期の復習	17	Lektion8 町で In der Stadt
2	前期の復習 Lektion5 買い物 Einkäufe	18	Lektion8 町で In der Stadt
3	Lektion5 買い物 Einkäufe	19	Lektion8 町で In der Stadt
4	Lektion5 買い物 Einkäufe	20	Lektion8 町で In der Stadt
5	Lektion5 小テスト、Lektion6	21	Lektion8 小テスト、Lektion9
6	Lektion6 一日のできごと Tagesablauf	22	Lektion9 一日のできごと(過去) Termine
7	Lektion6 一日のできごと Tagesablauf	23	Lektion9 一日のできごと(過去) Termine
8	Lektion6 一日のできごと Tagesablauf	24	Lektion9 一日のできごと(過去) Termine
9	Lektion6 一日のできごと Tagesablauf	25	Lektion9 一日のできごと(過去) Termine
10	Lektion6 小テスト、Lektion7	26	Lektion9 小テスト、Lektion 10
11	Lektion7 ショッピングセンターで	27	Lektion10 旅行 Reise
12	Lektion7 ショッピングセンターで	28	Lektion10 旅行 Reise
13	Lektion7 ショッピングセンターで	29	Lektion10 まとめ・小テスト
14	Lektion7 ショッピングセンターで	30	後期のまとめ
15	Lektion7 ショッピングセンターで	31	期末試験
16	Lektion7 小テスト、Lektion8		

【履修上の注意事項】

必ず教科書と『独和辞典』を持参して出席してください。(電子辞書可, 下記の辞書を参考にしてください)

【評価方法】

出席、課題、小テスト、発表、期末試験で総合的に評価する。

【テキスト】

『入門ドイツ語プラクティッシュ』三修社 (ISBN) 978-4-384-12263-3

【参考文献】

独和辞典：『エクセル独和辞典』(郁文堂)、『アポロン独和辞典』(同学社)、
『アクセス独和辞典』(三修社) など。

ドイツ語Ⅱ

担当教員 東江 貴子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 【年次・学科指定】 2・3・4年次 全学科 (火金2)

【授業のねらい】

ドイツ語Ⅰの基礎知識を活かして、助動詞や現在完了を使って、日常会話に役立ちそうな文法を習得します。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	授業に関するガイダンス、ドイツ語Ⅰ文法確認・復習
2	前置詞の格支配
3	9つの3格4格支配の前置詞
4	4格支配の前置詞
5	3格支配の前置詞
6	後期中間試験
7	分離動詞1、非分離動詞
8	時刻、分離動詞2
9	話法の助動詞1
10	不定代名詞man、話法の助動詞2
11	話法の助動詞3、nicht
12	現在完了形1、過去分詞
13	現在完了形2、nicht
14	過去人称変化
15	過去基本形
16	後期期末試験

【履修上の注意事項】

ドイツ語Ⅰ単位取得者が対象。

後期は登録期間1日目より出席をとり、授業内容を進めていきます。登録期間中に欠席した場合、出席した学生が優先となることがあります。テキスト・辞書持参で授業に臨んで下さい。

【評価方法】

成績は出席数を重視し、課題と中間試験と期末試験の取り組み方を総合的に評価します。欠席が3分の1以上の場合、また試験を受けない場合は不可になりますのでご注意ください。

【テキスト】

入門ドイツ語プラクティッシュPraktisch.deCD付き (三修社) 2,700円＋税

【参考文献】

ドイツ語Ⅱ

担当教員 漆谷球美子（月）、クラウス・フランケ（木）

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 【年次・学科指定】1年次 法律・地行（月木4）

【授業のねらい】

ドイツ語Ⅰを受けて、同一のテキストで授業を継続する。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

ドイツ語Ⅰと同じ。

【評価方法】

ドイツ語Ⅰと同じ。

【テキスト】

ドイツ語Ⅰと同じ。

【参考文献】

ドイツ語Ⅱ

担当教員 吉井巧一（月）、クラウス・フランケ（木）

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 【年次・学科指定】 1年次 日文・社文（月木3）

【授業のねらい】

ドイツ語Ⅰを受けて、同一のテキストで授業を継続する。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

ドイツ語Ⅰと同じ。

【評価方法】

ドイツ語Ⅰと同じ。

【テキスト】

ドイツ語Ⅰと同じ。

【参考文献】

ドイツ語Ⅱ

担当教員 クラウス・フランケ(月)、吉井巧一(木)

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 【年次・学科指定】1年次 経済・環政・企シ・産情・英米(月木3)

【授業のねらい】

ドイツ語Ⅰを受けて、同一のテキストで授業を継続する。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

ドイツ語Ⅰと同じ。

【評価方法】

ドイツ語Ⅰと同じ。

【テキスト】

ドイツ語Ⅰと同じ。

【参考文献】

ドイツ語Ⅲ

担当教員 漆谷 克秀 (火 2・金 2)

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 【年次・学科指定】 2・3・4年次 全学科 (火金 2)

【授業のねらい】

初修ドイツ語を履修した学生を対象にします。ドイツ語 I・II で教えられていない文法事項もありますが、それはテキストで出てきたときに説明します。

テキストは「ヨーロッパ共通枠」でドイツ出版されたものを使います。ドイツに定住する外国人のためのテキストです。生活に必要な最小限の会話から始まります。ドイツ語のリズムや発声を繰り返し練習します。Einheit(課)の間で、やさしいドイツ語の絵本なども入れて読む予定です。

【授業の展開計画】

- 1週： 担当者の自己紹介、授業のガイダンス、
"studio d A1" Start auf Deutsch
- 2週～4週： "studio d A1" Start auf deutsch
Einheit 1 Cafä d
- 5週～9週： "studio d A1" Einheit 1 Cafä d
Einheit 2 Im Sprachkurs
- 10週～14週： "Studio d A1" Einheit 3 Städte--Länder--Sprachen
Einheit 4 Menschen und Häuser
- 15週： 前期のまとめ

【履修上の注意事項】

辞書を持ってくること。ドイツに限らず、ヨーロッパの事柄に関心を持つようにしてください。

【評価方法】

出席と仕事の量で評価します。出席することは、それだけ仕事をするようになります。また、学習したことを確認する程度のテストをします。

【テキスト】

"studio d A1" Deutsch als Fremdsprache, Kurs- und Übungsbuch Teilband 1 (Cornelsen)
その他のテキストはプリントで渡します。

【参考文献】

ドイツ語Ⅳ

担当教員 漆谷 克秀 (火 2・金 2)

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 【年次・学科指定】 2・3・4年次 全学科 (火金 2)

【授業のねらい】

ドイツ語3を受けて、継続して授業をおこないます。発音にあたっては、気持ちが表現できるように努力していきます。

【授業の展開計画】

1週： 授業ガイダンス

"studio d A1" Station 1

2週～5週： "Studio d A1" Station 1

Einheit 5 Termine

6週～10週： "Studio d A1" Einheit 5 Termine

Einheit 6 Orientierung

11週～14週： "Studio d A1" Einheit 6 Orientierung

Anhang

"Faust"の購読

15週： 後期のまとめ

【履修上の注意事項】

辞書を持ってくること。

【評価方法】

出席と仕事の量で評価します。

【テキスト】

"studio d A1" Deutsch als Fremdsprache, Kurs- und Übungbuch , Teilband 1 (Cornelsen)

"Faust" Deutsch als Fremdsprache, A2 Leichte Literatur (Hueber)

【参考文献】

フランス語 I

担当教員 上江洲 律子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象：英米・社文(月木3)

【授業のねらい】

初めて学ぶ「言語」として、「abcの歌」を歌うなど、その音に慣れることから始めます。そして、挨拶などの基本的な日常会話を通して、文の仕組みと発音を学びながら、「読む」「聞く」「書く」「話す」力を総合的に身につけることを目標とします。そのため、授業ではプリント問題や、CALL教室のLMSe-learning問題で文法練習を行うと同時に、CDやDVD教材を使って聞き取りの練習や暗唱にも取り組みます。また、文化紹介として、生活習慣や行事のほか音楽や映画、文学などに触れつつ、最終的に「フランス」的な「もの」や「こと」、「ひと」に対して親しみ、興味を広げていくことを目指します。

【授業の展開計画】

教科書にそって進めていきます。

01～02週目(01～04回目)：ガイダンスと第0課「あいさつをする」

03～06週目(05～12回目)：第1課「自分を紹介する」

07～10週目(13～20回目)：第2課「情報を得る」

11～14週目(21～28回目)：第3課「持ち物をいう」

15～16週目(29～31回目)：まとめと試験

※ただし、授業の進捗状況(学生の方々の習得状況)に合わせて、多少の変更を行います。

【履修上の注意事項】

言葉は繰り返し練習することでしか習得できないものです。例えば、スポーツをする際、トレーニングによって筋力を高めながら技術を磨くように、フランス語でも、実力を培うために反復練習を行う必要があります。そこで、授業では、練習への積極的な取り組みを要望しますが、学生の方々は、授業外でも自主練習を積み重ねる心構えで臨んで下さい。また、声の大きさは、語学力において思いのほか大きな割合を占めています。できるだけ大きな声を出せるように、意識して練習をして下さい。また、指定学科と年次を守って下さい。

【評価方法】

授業目標の達成度を確認するために、筆記形式による試験(「読む・書く」力の確認)と暗唱形式による発音の試験(「聞く・話す」力の確認)を実施します。また、出席状況と課題の提出状況を得点化し、前述の2つの試験の結果に加えて、総合的に評価します。

●計算式＝筆記試験の得点(35%)＋発音試験の平均得点(35%)＋出席得点(20%)＋課題得点(10%)

【テキスト】

●藤本武司・藤田義孝・井上直子・柏木加代子・柏木隆雄・上江洲律子著『オ・パ・カマラッド！一足並みそろえて、フランス語！一』、駿河台出版社(改訂版・CD付)

【参考文献】

田島宏編『コレクション・フランス語』、白水社(①入門②初級③文法、各CD付)

森本英夫・三野博司著『新・リュミエール—フランス文法参考書—』、駿河台出版社(別売りCD有)

フランス語 I

担当教員 -宮里 厚子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象：法律・地行・経済・環政・企シ・産情（火金2）

【授業のねらい】

フランス語に慣れ親しみ、あいさつや自己紹介など基本的な会話表現の習得を目指します。そのために、授業ではまず発音のルールを学んだあと、教科書に沿って会話の反復練習や文法理解のための練習問題に取り組んでいきます。また授業では、フランスの伝統・習慣・社会事情などの紹介を通して、フランスやフランス語圏の文化、フランス人の考え方などに対する理解を深めることもねらいとします。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション / 0課 あいさつと発音のルール
2	0課 あいさつと発音のルール・フランスの基礎知識
3	1課 自己紹介をする：出身・国籍をいう
4	1課 自己紹介をする：専攻をいう・否定文の作り方
5	1課 自己紹介をする：職業をいう・人を紹介する
6	1課 まとめと練習問題
7	2課 情報を得る：話せる言葉・話せない言葉をいう
8	2課 情報を得る：住んでいるところをいう・疑問文の作り方
9	2課 情報を得る：年齢をいう
10	2課 まとめと練習問題
11	3課 持ち物をいう：持っている物・持っていない物をいう
12	3課 持ち物をいう：物の名前をいう
13	3課 持ち物をいう：誰のものかをいう
14	3課 まとめと練習問題
15	前期のまとめ
16	期末試験

【履修上の注意事項】

教科書にはCDがついていますので、授業以外でも自分でCDを聴きフランス語の音になれるようにして下さい。

【評価方法】

筆記試験：70%

課題提出：20%

授業への参加姿勢：10%

【テキスト】

『Au pas, camarade! (足並みそろえて, フランス語!)』(改訂版・CD付) 藤木武司, 藤田義孝, 井上直子, 柏木加代子, 柏木隆雄・上江洲律子 著 (駿河台出版社)

【参考文献】

各種仏和辞書

フランス語 I

担当教員 ーデルハール フランク

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象：地行・人福（月木4）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

まずはフランス語のスペルと発音の紹介から始めます。そして、挨拶などの基本的な日常会話を通して、文の仕組みと発音を学びながら、「読む」「聞く」「書く」「話す」力を総合的に身につけることを目標とします。そのため、授業では、プリント問題やCALL教室のe-learning問題で文法練習を行うと同時に、CDやDVD教材を使って聞き取りの練習や暗唱にも取り組みます。また、文化の紹介として、生活習慣や行事のほか、音楽や映画、文学などに触れつつ、最終的に、「フランス」的な「もの」や「こと」、「ひと」に対して親しみ、興味を広げていくことを目指します。

【授業の展開計画】

教科書にそって進めていきます。

※ただし、授業の進捗状況（学生の方々の習得状況）に合わせて、多少の変更を行います。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	ガイダンスとLeçon0あいさつをする	17	Leçon2情報を得る
2	ガイダンスとLeçon0あいさつをする	18	Leçon2情報を得る
3	ガイダンスとLeçon0あいさつをする	19	Leçon2情報を得る
4	ガイダンスとLeçon0あいさつをする	20	Leçon2情報を得る
5	Leçon1自分を紹介する	21	Leçon3持ち物をいう
6	Leçon1自分を紹介する	22	Leçon3持ち物をいう
7	Leçon1自分を紹介する	23	Leçon3持ち物をいう
8	Leçon1自分を紹介する	24	Leçon3持ち物をいう
9	Leçon1自分を紹介する	25	Leçon3持ち物をいう
10	Leçon1自分を紹介する	26	Leçon3持ち物をいう
11	Leçon1自分を紹介する	27	Leçon3持ち物をいう
12	Leçon1自分を紹介する	28	Leçon3持ち物をいう
13	Leçon2情報を得る	29	まとめと試験
14	Leçon2情報を得る	30	まとめと試験
15	Leçon2情報を得る	31	まとめと試験
16	Leçon2情報を得る		

【履修上の注意事項】

言葉は、繰り返し練習することでしか習得できないものです。例えば、フランス語でも、実力を培うために反復練習を行う必要があります。そこで、学生の方々は、授業外でも自主練習を積み重ねる心構えで臨んで下さい。また、単語のスペルを覚えることは非常に大切な役割を果たしますが、フランス語を聞けたり話せたりするようになるのにも、できるだけ大きな声を出して発音を練習する必要があります。スペルと発音のつながりを意識して練習して下さい。指定学科と年次を守って下さい。

【評価方法】

出席率を考慮に入れますが、得点はつきません。

○計算式＝期末テストの得点（100％）

【テキスト】

藤本武司・藤田義孝・井上直子・柏木加代子・柏木隆雄・上江洲律子著『オ・パ・カマラッド！一足並みそろえて、フランス語！』駿河台出版社（改訂版・CD付）

【参考文献】

フランス語 I

担当教員 金城 豪

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象：経済・環政・企シ・産情・日文（月木3）

【授業のねらい】

フランス語の初心者を対象とします。アルファベットと発音の基礎から始め、当言語を理解するために必要な文法事項を解説していくと共に、反復練習を行います。「読む」「書く」「聞く」「話す」という4つの力を総合的に養成することを目標とします。フランスへのより深い理解と、興味を高めるために、フランスやフランス語圏の文化・芸術・音楽の紹介、映画鑑賞等を予定しています。

【授業の展開計画】

テキストの第0課～第3課に対応

- 第1週 フランスとフランス語に親しむ
- 第2週 文字と発音
- 第3週 文字と発音
- 第4週 挨拶
- 第5週 自己紹介
- 第6週 主語人称代名詞
- 第7週 名詞の性と数・不定冠詞
- 第8週 動詞の活用I(etre)
- 第9週 数字
- 第10週 動詞の活用II (avoir)
- 第11週 形容詞の女性形と複数形・定冠詞
- 第12週 人称代名詞の強勢形・否定文
- 第13週 動詞の活用III (-er動詞)
- 第14週 指示形容詞・所有形容詞
- 第15週 前期の復習とまとめ
- 第16週 期末試験

【履修上の注意事項】

仏和辞典を持参すること。電子辞書可。

語学は繰り返し根気強く学習することが必要です。毎回積極的に授業に参加すること。指定学科と年次を守って下さい。

【評価方法】

出席状況・授業態度・レポート・試験を総合的に評価します。

【テキスト】

藤本武司他著『オ・パ・カマラッド！一足並みそろえて、フランス語！』、駿河台出版社（改訂版・CD付）

【参考文献】

辞典：多田道太郎編『クラウン仏和辞典』（三省堂）

フランス語 I

担当教員 -ムートン ジスラン

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象：法律・人福（月木4） ， 2年次以上：全学科（月木5）

【授業のねらい】

アルファベットの音に慣れることから始め、基本的な日常会話場面を通して文の仕組みを学びながら、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を総合的に身につけます。フランス語の運用力をヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）ゼロからA1.1レベルまで伸ばすこと、具体的にはフランス語で「挨拶が出来る」、「お礼が言える」、「自己紹介が出来る」、「アルファベットでつづりが言える」、「身の回りのことについて表現できる」ようになることを到達目標とします。また、フランス語はもちろん、フランス文化と異文化コミュニケーションにも興味を広がっていくことを目指します。

【授業の展開計画】

CEFRの基準を参照しながら、教科書の内容を使って進めていきます。

01～02週目（01～04回目）：オリエンテーションと第0課「あいさつをする」

03～06週目（05～12回目）：第1課「自分を紹介する」

07～10週目（13～20回目）：第2課「情報を得る」

11～14週目（21～28回目）：第3課「持ち物をいう」

15～16週目（29～31回目）：まとめと試験

※ただし、授業の進捗状況（学生の習得状況）に合わせて、多少の変更を行います。

【履修上の注意事項】

外国語の勉強にもっとも大事なのがモチベーションです。やる気があれば、フランス語もマスターできます。やる気を持続させるのは自律学習能力です。このクラスではフランス語を、何のために、どこで使うのかについてよく考え、到達可能な目標を設定、学習記録を使うことで自律学習を支援します。指定学科と年次を守って下さい。

【評価方法】

授業目標の達成度を確認するために、筆記形式による試験（「読む・書く」能力を測る期末試験）と発音のテスト（「聞く・話す」能力の確認が出来る活動）も実施します。また、出席状況を得点化し、前述の二つの試験の結果に加えて、総合的に評価します。

●計算式＝筆記試験の得点（40％）＋発音試験の平均得点＋授業中の参加度（35％）＋出席得点（25％）

【テキスト】

藤本武司・藤田義孝・井上直子・柏木加代子・柏木隆雄・上江洲律子著
『オ・パ・カマラッド！－足並みそろえて、フランス語－』駿河台出版社（改訂版・CD付）
※一昨年使用していた教科書に似ているが、2013年からは改訂版なので、ご注意ください

【参考文献】

フランス・フランス語情報：<http://hitsujiji.ti-da.net/> フランスの言葉を紹介する専門誌：「ふらんす」
「街角のフランス語を探せ！」のアプリ：Spotfrench
フランス語自律学習サポート：<http://www.podcastfrançaisfacile.com/>

フランス語Ⅱ

担当教員 上江洲 律子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象：英米・社文(月木3)

【授業のねらい】

前期に引き続き、フランス語を「読む」「聞く」「書く」「話す」力を総合的に身につけることを目標とします。そこで、授業では、日常生活に見られる様々な表現を通して、文の仕組みの把握や、フランス語らしい発音の習得に取り組みます。また、抜粋されたフランス語の文章の読み取りや、作文、映画や音楽を使った書き取りの練習などを行い、フランス文化に触れながら、フランス語の実践力を高めていきます。そして、フランス語の検定試験の受験や、フランス語の中級クラス(フランス語Ⅲ・Ⅳ)への進級、さらには、レンヌ第二大学への交換留学への橋渡しとなる授業を目指します。

【授業の展開計画】

教科書にそって進めていきます。

01週目 (01～02回目)：ガイドダンスと復習(1)第0課「あいさつをする」

02週目 (03～04回目)：復習(2)第1課「自分を紹介する」

03週目 (05～06回目)：復習(3)第2課「情報を得る」

04週目 (07～08回目)：復習(4)第3課「持ち物をいう」

05～07週目 (09～14回目)：第4課「家族を紹介する」

08～10週目 (15～20回目)：第5課「予定をいう」

11～14週目 (21～28回目)：第6課「食事をする」

15～16週目 (29～31回目)：まとめと試験

※ただし、授業の進捗状況(学生の方々の習得状況)に合わせて、多少の変更を行います。

【履修上の注意事項】

フランス語Ⅰを履修済みであること、または、その実力を有することが履修の必要条件となります。指定学科と年次を守って下さい。

【評価方法】

前期と同様、筆記形式による試験(「読む・書く」力の確認)と、暗唱形式による発音の試験(「聞く・話す」力の確認)を実施します。そして、出席状況と課題の提出状況を得点化し、前述の2つの試験の結果に加えて、総合的に評価します。

●計算式＝筆記試験の得点(35%)＋発音試験の平均得点(35%)＋出席得点(20%)＋課題得点(10%)

【テキスト】

●藤本武司・藤田義孝・井上直子・柏木加代子・柏木隆雄・上江洲律子著『オ・パ・カマラッド！一足並みそろえて、フランス語！一』、駿河台出版社(改訂版・CD付)

【参考文献】

田島宏編『コレクション・フランス語』、白水社(①入門②初級③文法、各CD付)

森本英夫・三野博司著『新・リュミエール—フランス文法参考書—』、駿河台出版社(別売りCD有)

フランス語Ⅱ

担当教員 -宮里 厚子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行・経済・環政・企シ・産情（火金2）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

フランス語Ⅱ

担当教員 一金城 豪

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象：経済・環政・企シ・産情・日文（月木3）

【授業のねらい】

前期に引き続き、フランス語の基礎を学んでいきます。フランス語Ⅰと同じテキストを使用します。ビデオやCDなどの視聴覚教材を用いながら、日常会話やよく使われる表現を繰り返し練習します。フランス語Ⅲ、Ⅳに進むための確実な文法力を身につけることを目標とします。また文部科学省認定実用フランス語検定試験4～5級取得を目指します。

【授業の展開計画】

テキストの第4課～第6課に対応

- 第1週 前期の復習
- 第2週 部分冠詞・疑問文の作り方
- 第3週 天候・季節の表現（非人称構文）
- 第4週 動詞の活用(-ir動詞)
- 第5週 動詞aller と venir の用法
- 第6週 前置詞deとa の用法
- 第7週 比較の表現
- 第8週 補語人称代名詞
- 第9週 可能・欲求・義務の表現
- 第10週 疑問形容詞
- 第11週 依頼・命令の表現
- 第12週 代名動詞の用法
- 第13週 空間の表現（前置詞）
- 第14週 食事の表現（語彙・文化紹介）
- 第15週 後期の復習とまとめ
- 第16週 期末試験

【履修上の注意事項】

フランス語Ⅰを履修済みであること。または同等の力を有していること。

仏和辞典を毎回持参すること。電子辞書可。

語学は繰り返し根気強く学習することが必要です。毎回積極的に授業に参加すること。指定学科と年次を守って下さい。

【評価方法】

出席状況・授業態度・レポート・試験を総合的に評価します。

【テキスト】

藤本武司他著『オ・パ・カマラッド！一足並みそろえて、フランス語！』、駿河台出版社（改訂版・CD付）

【参考文献】

辞典：多田道太郎編『クラウン仏和辞典』（三省堂）

フランス語Ⅱ

担当教員 テルハール フランク

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象：地行・人福（月木4）

【授業のねらい】

前期に引き続き、フランス語を「読む」「聞く」「書く」「話す」力を総合的に身につけることを目標とします。そこで、授業では、日常生活に見られる様々な表現を通して、文の仕組みの把握や、フランス語らしい発音の習得に取り組みます。また、フランス文化に触れながら、フランス語の実践力を高めていきます。そして、フランス語の検定試験の受験や、フランス語の中級クラス（フランス語Ⅲ・Ⅳ）への進級となる授業を目指します。

【授業の展開計画】

教科書にそって進めていきます。

※ただし、授業の進捗状況（学生の方々の習得状況）に合わせて、多少の変更を行います。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	がイダンスと復習（1）Leçon0あいさつをする	17	Leçon5予定をいう
2	がイダンスと復習（1）Leçon0あいさつをする	18	Leçon5予定をいう
3	復習（2）Leçon1自分を紹介する	19	Leçon5予定をいう
4	復習（2）Leçon1自分を紹介する	20	Leçon5予定をいう
5	復習（3）Leçon2情報を得る	21	Leçon6食事をする
6	復習（3）Leçon2情報を得る	22	Leçon6食事をする
7	復習（4）Leçon3持ち物をいう	23	Leçon6食事をする
8	復習（4）Leçon3持ち物をいう	24	Leçon6食事をする
9	Leçon4家族を紹介する	25	Leçon6食事をする
10	Leçon4家族を紹介する	26	Leçon6食事をする
11	Leçon4家族を紹介する	27	Leçon6食事をする
12	Leçon4家族を紹介する	28	Leçon6食事をする
13	Leçon4家族を紹介する	29	まとめと試験
14	Leçon4家族を紹介する	30	まとめと試験
15	Leçon5予定をいう	31	まとめと試験
16	Leçon5予定をいう		

【履修上の注意事項】

フランス語Ⅰを履修済みであること、または、その実力を有することが履修の必要条件となります。指定学科と年次を守って下さい。

【評価方法】

出席率を考慮に入れますが、得点はつきません。

○計算式＝期末テストの得点（100％）

【テキスト】

藤本武司・藤田義孝・井上直子・柏木加代子・柏木隆雄・上江洲律子著『オ・パ・カマラッド！一足並みそろえて、フランス語！』駿河台出版社（改訂版・CD付）

【参考文献】

フランス語Ⅱ

担当教員 -ムートン ジスラン

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象：法律・人福（月木4） ， 2年次以上：全学科（月木5）

【授業のねらい】

基本的な日常会話場面を通して文の仕組みを学びながら、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を総合的に身につけます。フランス語の運用力をヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）A1.1レベルまで伸ばすこと、具体的にはフランス語で「予定が言える」、「好きなことについて話せる」「自分が今したいことについて話せる」ようになることを到達目標とします。また、フランス語はもちろん、フランス文化と異文化コミュニケーションにも興味を幅を広げていくことを目指します。そして、フランス語の検定試験の受験や、さらにはレンヌ第二大学への交換留学への橋渡しとなる授業を目指します。

【授業の展開計画】

CEFRの基準を参照しながら、教科書の内容を使って進めていきます。

- 01週目 (01～02回目)：オリエンテーションと復習(1)第0課「あいさつをする」
- 02週目 (03～04回目)：復習(2)第1課「自分を紹介する」
- 03週目 (05～06回目)：復習(3)第2課「情報を得る」
- 04週目 (07～08回目)：復習(4)第3課「持ち物をいう」
- 05～07週目 (09～14回目)：第4課「家族を紹介する」
- 08～10週目 (15～20回目)：第5課「予定をいう」
- 11～14週目 (21～28回目)：第6課「食事をする」
- 15～16週目 (29～31回目)：まとめと試験

※ただし、授業の進捗状況（学生の方々の習得状況）に合わせて、多少の変更を行います。

【履修上の注意事項】

外国語の勉強にもっとも大事なのがモチベーションです。やる気があれば、フランス語もマスターできます。やる気を持続させるのは自律学習能力です。このクラスではフランス語を、何のために、どこで使うのかについてよく考え、到達可能な目標を設定、学習記録を使うことで自律学習を支援します。フランス語Ⅰを履修済みであること、または、その実力を有することが履修の必要条件となります。指定学科と年次を守って下さい。

【評価方法】

前期と同様、授業目標の達成度を確認するために、筆記形式による試験（「読む・書く」能力を測る期末試験）と発音のテスト（「聞く・話す」能力の確認が出来る活動）も実施します。また、出席状況を得点化し、前述の二つの試験の結果に加えて、総合的に評価します。

●計算式＝筆記試験の得点（40％）＋発音試験の平均得点＋参加度（35％）＋出席得点（25％）

【テキスト】

藤本武司・藤田義孝・井上直子・柏木加代子・柏木隆雄・上江洲律子著
『オ・パ・カマラッド！－足並みそろえて、フランス語－』駿河台出版社（改訂版・CD付）
※一昨年使用していた教科書に似ているが、2013年からは改訂版なので、ご注意ください

【参考文献】

フランス・フランス語情報：<http://hitsujiji.ti-da.net/> フランスの言葉を紹介する専門誌：「ふらんす」
「街角のフランス語を探せ！」のアプリ：Spotfrench
フランス語自律学習サポート：<http://www.podcastfrançaisfacile.com/>

フランス語Ⅲ

担当教員 上江洲 律子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金2）

【授業のねらい】

フランス語Ⅰ・Ⅱに引き続き、日常的な会話を通して基本的な表現や文法を学びながらも、「フランス語に親しみ、フランスに関心を持つ」という、フランス語Ⅰ・Ⅱで掲げた目標に留まらず、フランス語を実践的な場で活用できるような力を習得することを目指します。そのため、雑誌や新聞などの読解や、日記や手紙（メール）などの作文、CDやDVDなどの教材を用いた聞き取りや書き取りの練習にも取り組みます。また、旅行や留学などといった、フランス文化圏で過ごすことを念頭に、フランスの生活習慣や年中行事のほか、音楽や映画、文学や芸術などの文化についての紹介も行います。

【授業の展開計画】

教科書にそって進めていきます。

01～02週目（01～04回目）：ガイダンスとフランス語Ⅰ・Ⅱの復習

03～05週目（05～10回目）：第7課日課をいう

06～08週目（11～16回目）：第8課人や物をいいかえる

09～11週目（17～22回目）：第9課過去を語る

12～14週目（23～28回目）：第12課思いでを語る

15～16週目（29～31回目）：まとめと試験

※ただし、授業の進捗状況（学生の方々の習得状況）に合わせて、多少の変更を行います。

【履修上の注意事項】

フランス語Ⅰ・Ⅱを履修済みであること、または、その実力を有することが、履修に必要な条件となります。また、語学において、実践的な力をつけるためには、自主学習が不可欠です。そこで、フランス語Ⅲでは、復習としての課題の提出や、予習としての単語調べなどを義務付けますので、自主学習が必須の授業であることを念頭に履修して下さい。

【評価方法】

授業の達成度を確認するために、筆記形式による試験（「読む」「書く」力の確認）と、暗唱形式による発音の試験（「聞く」「話す」力の確認）を実施します。また、自主学習を推進し、その努力を評価するために、課題の提出状況を得点化し、前述の2つの試験の結果に加えて、総合的に評価します。

○計算式：筆記試験の得点（35%）＋発音試験の平均得点（35%）＋課題得点（30%）

※単位取得のためには、授業における3分の2以上の出席を義務付けます。

【テキスト】

・藤本武司・藤田義孝・井上直子・柏木加代子・柏木隆雄・上江洲律子著『オ・パ・カマラッド！一足並みそろえて、フランス語！一』、駿河台出版社（改訂版・CD付）

【参考文献】

・田島宏編『コレクション・フランス語』、白水社（①入門②初級③文法、各CD付）

・森本英夫・三野博司著『新・リュミエール—フランス文法参考書一』、駿河台出版社（別売りCD有）

フランス語Ⅳ

担当教員 上江洲 律子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金2）

【授業のねらい】

フランス語Ⅲにひき続き、フランス語の実践的な能力を高めることを目標とします。その実現のために、フランス語の上級クラス（外国語研究Ⅰ・Ⅱ）への進級や、フランス語の検定試験の受験、さらには、レンヌ第二大学への交換留学を具体的な目標とし、授業を通して、その目標を達成できる力を培います。

【授業の展開計画】

教科書にそって進めていきます。

01～02週目（01～04回目）：ガイダンスとフランス語Ⅲの復習

03～05週目（05～10回目）：第11課将来、未来を語る

06～08週目（11～16回目）：第10課人や物についてくわたり説明したりする

09～11週目（17～22回目）：第13課仮定、願望を語る

12～14週目（23～28回目）：第14課感情や希望を表現する

15～16週目（29～31回目）：まとめと試験

※ただし、授業の進捗状況（学生の方々の習得状況）に合わせて、多少の変更を行います。

【履修上の注意事項】

フランス語Ⅲを履修済みであること、または、その実力を有することが履修の必要条件となります。また、語学において、実践的な力をつけるためには、自主学習が不可欠です。そこで、フランス語Ⅳでは、フランス語Ⅲにひき続き、復習としての課題の提出や、予習としての単語調べなどを義務付けますので、自主学習が必須の授業であることを念頭に履修して下さい。

【評価方法】

授業の達成度を確認するために、筆記形式による試験（「読む」「書く」力の確認）と、暗唱形式による発音の試験（「聞く」「話す」力の確認）を実施します。また、自主学習を推進し、その努力を評価するために、課題の提出状況を得点化し、前述の2つの試験の結果に加えて、総合的に評価します。

○計算式：筆記試験の得点（35%）＋発音試験の平均得点（35%）＋課題得点（30%）

※単位取得のためには、授業における3分の2以上の出席を義務付けます。

【テキスト】

・藤本武司・藤田義孝・井上直子・柏木加代子・柏木隆雄・上江洲律子著『オ・パ・カマラッド！一足並みそろえて、フランス語！一』、駿河台出版社（改訂版・CD付）

【参考文献】

・田島宏編『コレクション・フランス語』、白水社（①入門②初級③文法）

・森本英夫・三野博司著『新・リュミエール—フランス文法参考書一』、駿河台出版社（別売りCD有）